

平成25年度
拠点の現況調査・解析業務
業務報告書

平成26年2月

札幌市市民まちづくり局
都市計画部地域計画課

【目次】

I. 業務概要	1
(1) 業務目的	1
(2) 工期	1
(3) 業務対象地域	1
(4) 成果品の内容	2
(5) 業務に使用した資料	2
II. 業務内容	3
(1) 現況調査	3
(2) 分析	4
(3) 報告書の作成	4
III. 現況調査・分析結果	6
(1) 現況調査（拠点別カルテの作成）	6
(2) 拠点間比較	11
(3) 分析	11

【参考資料】

拠点の現況調査・解析業務 GISデータ説明資料

I. 業務概要

(1) 業務目的

地下鉄駅周辺などの拠点を中心とした建築物の建替更新などの機会を通じて地域の特性に応じた多様な機能集積、環境負荷低減、魅力ある空間創出などを誘導することを目的とする民間開発等に対する支援制度の検討のための基礎資料として、各拠点における現況調査と解析を行い、各拠点の特性を把握することを目的とする。

(2) 工期

平成 25 年 10 月 22 日から平成 26 年 2 月 28 日迄

(3) 業務対象地域

表に示す地下鉄及び JR 駅等の拠点から、それぞれ半径 300m 圏及び 800m 圏の範囲を対象区域とする（全 49 箇所）

表 業務対象区域

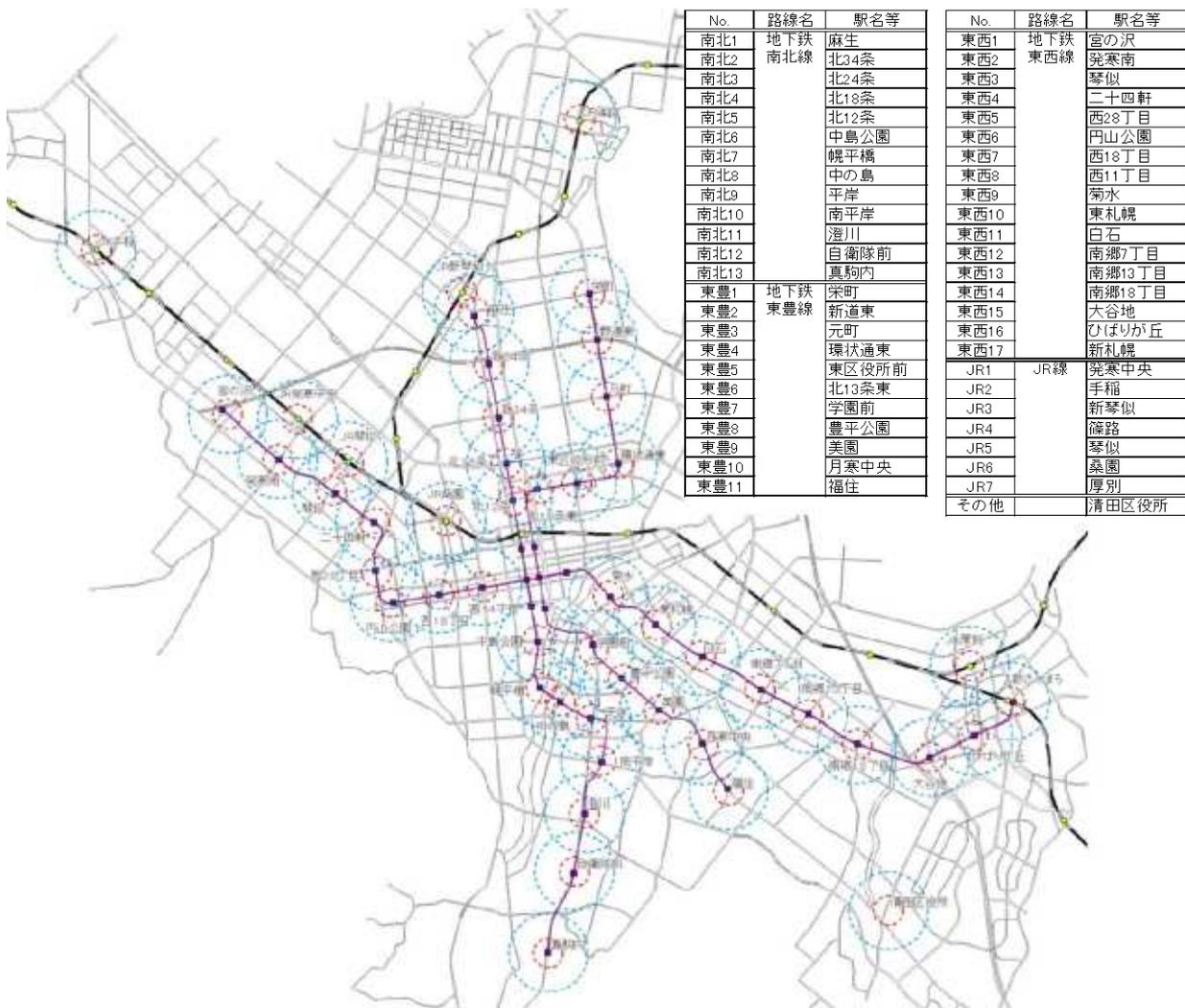


図 位置図

(4) 成果品の内容

内容	形式	数量	備考
1. 業務報告書			
(1) 業務報告書	A4版	3部	
(2) 拠点別カルテ	A3版	3部	
2. データファイル			
(1) 業務報告書データ	DVD-ROM	1式	
(2) 作成データベース			
(3) 図面類データ(Docuworksデータ及びGISデータ)			

(5) 業務に使用した資料

名称	資料時点等
1. 都市計画基礎調査データ	
(1) 都市計画基礎調査データベース(MicrosoftAccess形式)	平成8年3月31日現在、平成12年3月31日現在、平成17年3月31日現在、平成23年3月31日現在
(2) 都市計画基礎調査関連GISデータ(MapInfo形式)	H8.3.31現在、H12.3.31現在、H17.3.31現在、H23.3.31現在
2. 数値地図(GISデータ)	
(1) 札幌市共有基本データ(SDF形式)	
・共有基図修正版	平成24年度版
・用途地域	平成24年12月4日時点
・都市計画道路	平成25年10月1日時点
・特別工業地区	平成25年1月1日時点
・小売店舗地区	平成24年8月10日時点
・特別業務地区	平成24年8月10日時点
・高度地区	平成24年12月4日時点
・高度利用地区	平成24年9月28日時点
・防火地域及び準防火地域	平成24年8月10日時点
・地区計画	平成24年12月4日時点
・戸建住環境保全地区	平成24年12月4日時点
・職住共存地区	平成24年12月4日時点
・大規模集客施設制限地区	平成24年12月4日時点
・土地区画整理事業	平成25年10月1日時点
・第一種市街地再開発事業	平成24年9月28日時点
・町名	平成24年度版
3. 人口・交通関係データ	
(1) 住民基本台帳(都市計画基礎調査ゾーン別用途地域別人口)	平成8年4月1日現在、平成12年4月1日現在、平成17年4月1日現在、平成23年4月1日現在
(2) 国勢調査(小地域別)	平成17年10月1日、平成22年10月1日
(3) 札幌の都市交通データ	平成8年、平成12年、平成17年、平成23年
4. 公共施設等データ	
(1) H23年度地域課題マップ作成支援事業委託業務データ	平成23年度
(2) 住宅地図(ゼンリン)	2011.10(H23)版

Ⅱ. 業務内容

(1) 現況調査

- 各拠点ごとに、既存資料等（都市計画基礎調査、国勢調査、住民基本台帳、札幌の都市交通データ等）を用いて、次の①から⑧の項目について資料調査・整理を行った。
- 資料整理については、各拠点ごとに表・図面等により整理するとともに、②～⑧の項目について、各拠点の比較が可能な一覧表・グラフを作成した。
- 図面の整理については、共有基図（1/2500）と位置的整合が図られた GIS データとして整理した。

作成 GIS データの区分及び付与する属性情報は、下表に示すとおりである。

図面表示情報	区分	属性情報
施設（建物）	点データ	調査項目（分類）、名称
区域（広場、開発履歴位置等）	面データ	調査項目（分類）、名称
土地利用現況	面データ	土地利用現況分析計算値 （基礎調査ゾーン、建物、敷地図形への 属性付与）

- ⑥のア～エ、⑦のア、オについては、平成 8 年、平成 12 年、平成 17 年、平成 23 年の動向を調査・整理した。
- ⑦のイ、ウ、エについては、平成 17 年及び平成 22 年の動向を調査・整理した。

①用途地域等

対象区域内における用途地域、高度地区などの都市計画情報

②公共施設の現況調査

対象区域内の公共施設の状況

③後背資源の現況調査

対象区域の後背資源（観光資源・魅力資源等）の状況及び後背圏（小樽市・石狩市・江別市・北広島市）の状況

④広場等の現況調査

対象区域内の広場等（市民交流広場、空中歩廊、歩行者通路、公開空地等）の状況（位置、位置づけ、面積、管理主体等）

⑤公共交通の現況調査

対象区域内の地下鉄駅・JR 駅、乗継施設、バスの状況

ア 地下鉄・JR の状況（開設年次、乗車人員（動向）、バリアフリー状況等）

イ 乗継施設（バスターミナル、交通広場、パーク＆ライド駐車場、駐輪場等）の状況（位置、概要（規模等））

ウ バスの状況（便数）

⑥土地利用現況調査

対象区域内における開発履歴、土地利用動向等の状況

- ア 開発履歴（再開発事業、土地区画整理事業）の状況（位置、開発年次、事業費、概要、（規模、用途等））
- イ 土地利用動向（土地利用動向、建物用途別動向、構造別建物動向、用途別高さ動向、敷地規模別建物動向、建ぺい率・容積率動向）
- ウ 大規模未利用地状況（位置、利用状況（空地、駐車場、資材置場等））
- エ 老朽建物状況（位置、規模）
- オ 利便機能（商業施設、物販店舗、医療施設、福祉施設、娯楽施設、宿泊施設）の集積状況（位置、施設概要（用途、規模等））

⑦人口等動向調査

対象区域に対応する都市計画基礎調査小ゾーン単位の人口等の動向（調査対象となる小ゾーンと条丁目の対応付けは委託者から提示）。

- ア 人口（総数、年齢別）
- イ 世帯（総数）
- ウ 世帯構造（単独、高齢単身、高齢夫婦）
- エ 住宅所有構成（持家、借家等）
- オ 人口密度

⑧地元組織の現況調査

対象区域内の町内会、商店街等の組織（位置、名称）

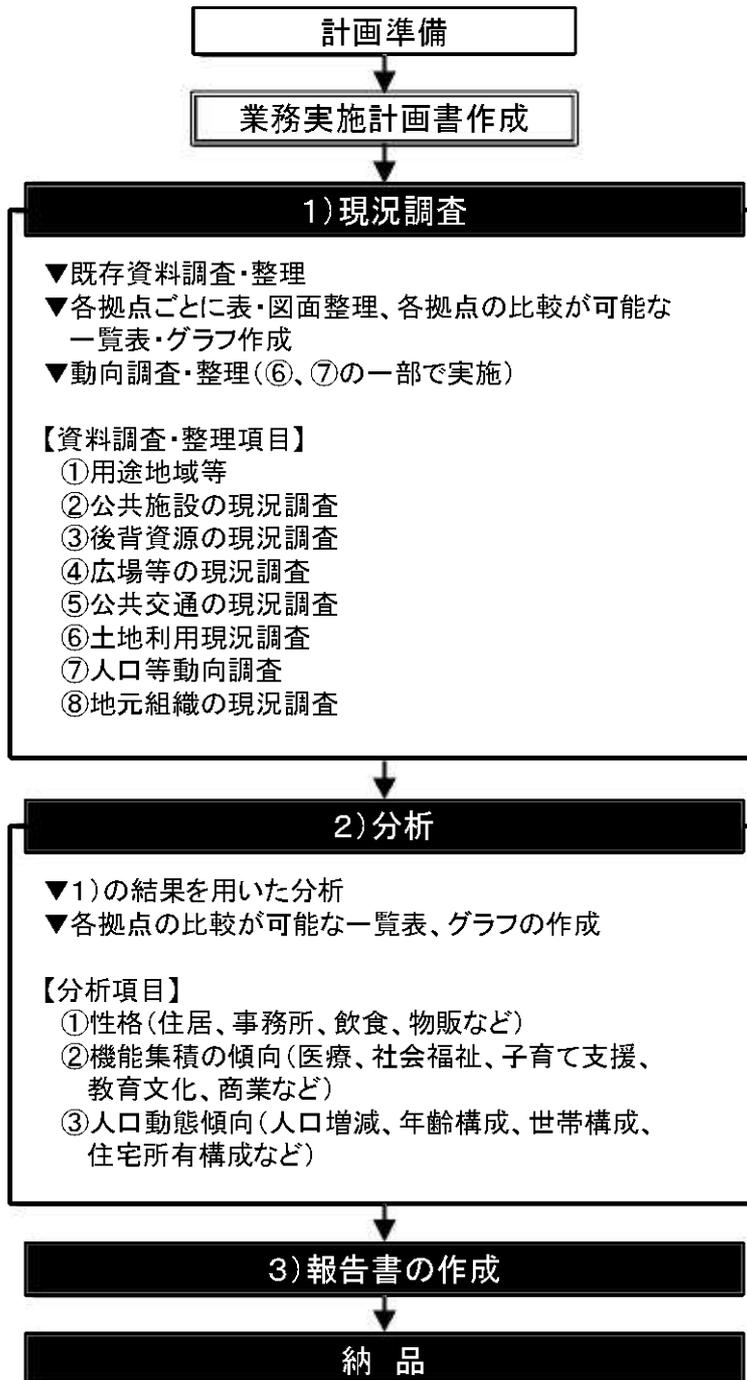
(2) 分析

- ・1) の現況調査の結果を用いて、次の項目について分析を行う。
（分析結果について、各拠点の比較が可能な一覧表、グラフを作成する。）
 - ①性格（住居、事務所、飲食、物販など）
 - ②機能集積の傾向（医療、社会福祉、子育て支援、教育文化、商業など）
 - ③人口動態傾向（人口増減、年齢構成、世帯構成、住宅所有構成など）

(3) 報告書の作成

現況調査・分析の結果について、報告書にまとめる。

■業務フロー



Ⅲ. 現況調査・分析結果

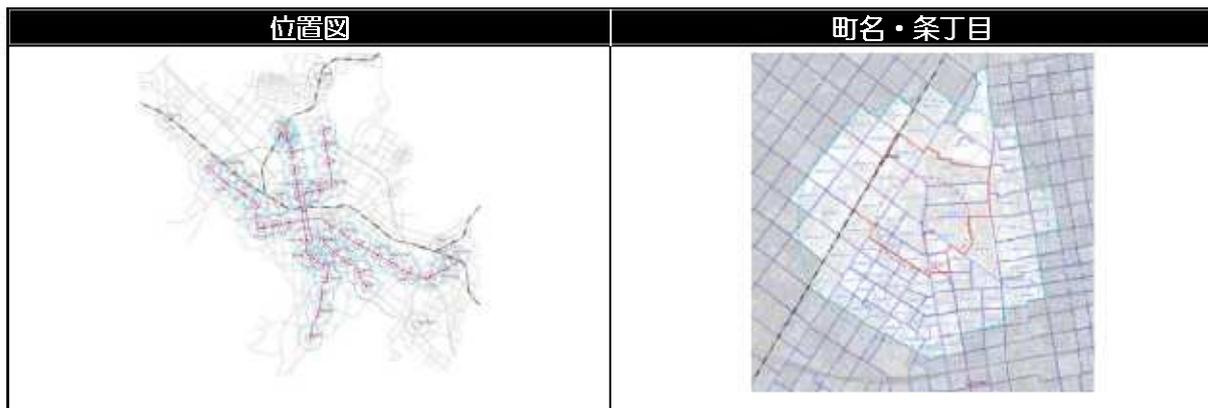
本業務の対象となる49箇所の拠点について、既存資料等を用いて資料調査・整理を行い、結果を踏まえて表・図面等を作成するとともに、拠点別カルテとしてとりまとめた。さらに、拠点間比較が可能となるグラフの作成を行い、分析を実施した。以下に概要を示す。

(1) 現況調査

既存資料等を用いて資料調査・整理を行い、結果を踏まえて表・図面等を作成するとともに、拠点別カルテとしてとりまとめた。以下に拠点別カルテの構成内容を示す。

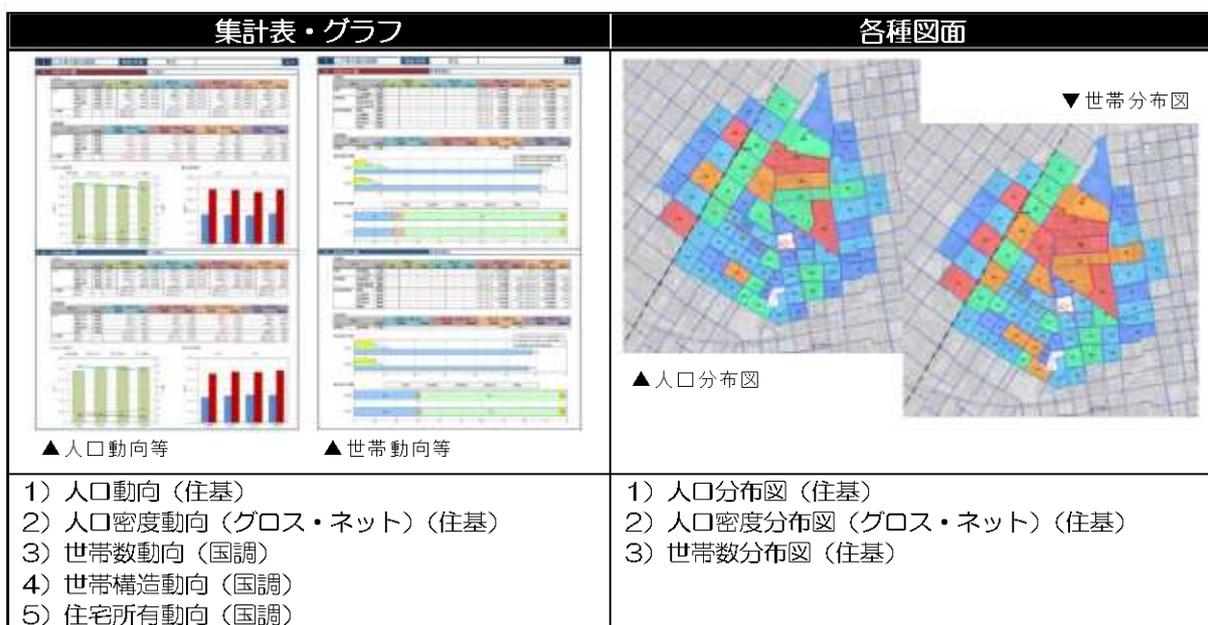
○ 参考図

各拠点における参考図として、位置図及び町名・条丁目を把握することができる図面を作成した。



① 人口等の動向調査

拠点後背圏の人口動向及び世帯動向について、住民基本台帳、国勢調査を基に調査を行い、集計表・グラフ・各種図面を作成した。



②土地利用現況調査

拠点後背圏における開発履歴（再開発事業、土地区画整理事業）や土地利用動向（土地利用動向、建物用途別動向、構造別建物動向、用途別高さ動向、敷地規模別建物動向、建ぺい率・容積率動向）、大規模未利用地状況、老朽建物状況、利便機能の集積状況について、都市計画基礎調査データや札幌市共有基本データを基に調査を実施し、集計表・グラフ・各種図面を作成した。

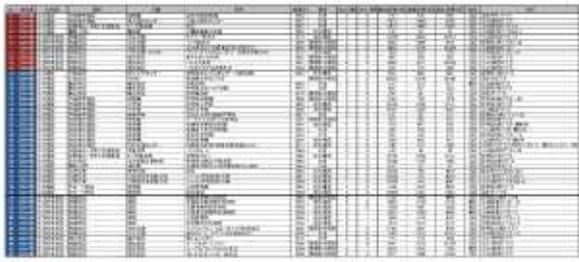
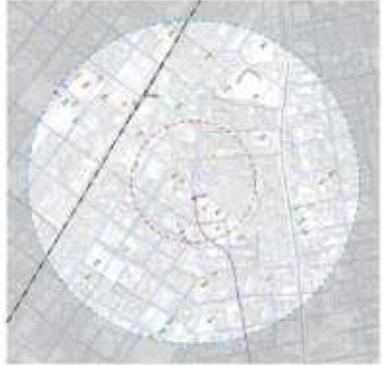
集計表・グラフ	各種図面
 <p>▲土地利用動向・建物用途別動向(一部例示)</p>	 <p>▲土地利用現況図・建物用途別現況図(一部例示)</p>
1) 土地利用動向 2) 建物用途別動向 3) 構造別建物動向 4) 建物用途別高さ動向 5) 建築敷地規模別動向 6) 建ぺい率・容積率動向 7) 大規模未利用地状況 8) 老朽建物状況 9) 開発履歴状況（再開発事業・土地区画整理事業）	1) 土地利用現況図 2) 建物用途別現況図 3) 構造別建物現況図 4) 建物用途別高さ現況図 5) 建築敷地規模別現況図 6) 建ぺい率・容積率現況図 7) 大規模未利用地状況 8) 老朽建物状況 9) 開発履歴状況（再開発事業・土地区画整理事業）

③公共施設等の現況調査

拠点後背圏における公共施設や生活利便施設等について、H23年度地域課題マップ作成支援事業委託業務データ（札幌市市民まちづくり局市民自治推進室）等を用いて調査を実施し、一覧表・図面の作成を行った。なお、施設分類は下表の形で整理した（12分類）。

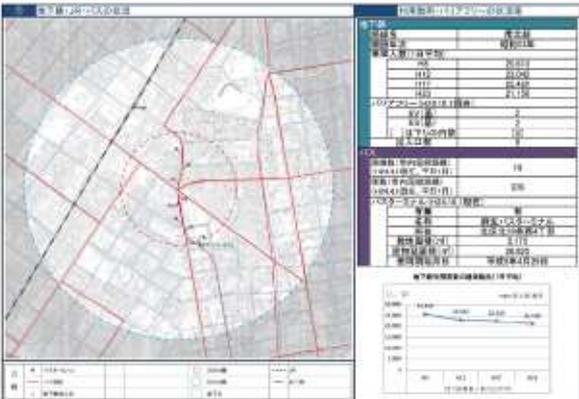
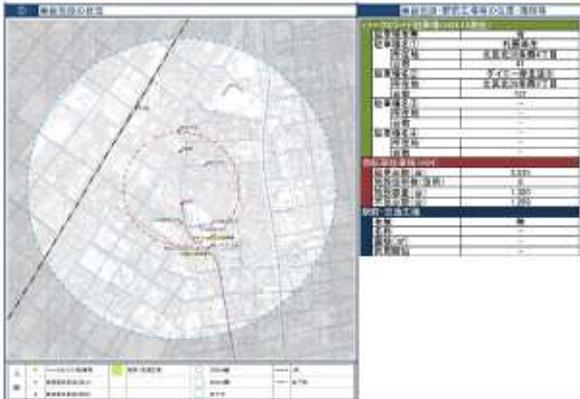
▼施設分類（12分類）

類型		分類					
1	行政施設	行政施設	区役所 庁舎施設等	まちづくりセンター 国道有施設	土木センター その他	保健センター	市税事務所
2	学校教育・文化施設	集会施設	集会施設				
		学校教育施設	幼稚園 大学	小学校 特別支援学校	中学校	高等学校	専修学校
		文化施設	市民交流広場 その他	区民センター	地区センター	図書館	文化財郷土資料館
3	社会福祉施設	社会福祉施設	保育園	包括支援センター	老人福祉センター	その他	
4	児童福祉・子育て支援施設	児童福祉・子育て支援施設	区保育・子育て支援センター	学童保育	児童会館	ミニ児童会館	
5	医療施設	医療施設	病院				
6	商業施設	商業施設	大型店舗	中型店舗	中型店舗(その他)	その他	
7	宿泊施設	宿泊施設	大型施設				
8	娯楽施設	娯楽施設	興業施設	風俗営業施設	遊技施設	スポーツ施設	
9	警察・消防・郵便局	警察・消防	警察署	消防署			
		郵便局	郵便局				
10	公営住宅	公営住宅	市営住宅	借上り営住宅	道営住宅	北海道住宅供給公社	UR都市機構
11	スポーツ施設	スポーツ施設	体育館	温水プール	競技場	野球場	庭球場
12	その他	その他	オープンスペース施設	清掃施設			

公共施設等一覧表	公共施設等の状況
	
<p>1) 公共施設等一覧表</p> <ul style="list-style-type: none"> 名称、建築年、構造、階数、敷地面積、建築面積、延床面積、区名、住所 	<p>1) 公共施設等の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 位置、名称

④公共交通の現況調査

拠点後背圏における地下鉄・JR・バス及び乗継施設等の公共交通の現況について、札幌の都市交通データ等を用いて調査を実施し、表・図面の作成を行った。

地下鉄・JR・バスの状況	乗継施設の状況
	
<p>1) 地下鉄・JR・バスの状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 開設年次、乗車人員（動向）、バリアフリー状況、出入口数 バス路線数、バス便数、バスターミナル（名称、所在、敷地面積、建物総面積、使用開始年月） 	<p>2) 乗継施設の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> パーク&ライド駐車場、自転車駐輪場、駅前・交通広場

⑤広場の現況調査

拠点後背圏における広場等（公開空地、歩行者通路、市民交流広場）の状況について、札幌市共有基本データや札幌の都市交通データ等を用いて調査を実施し、表・図面の作成を行った。

歩行空間・広場一覧表				歩行空間・広場の状況																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>位置づけ</th> <th>管理主体</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩行者通路</td> <td>緑地広場・有地緑地</td> <td>緑地管理課、緑地、札幌市</td> <td></td> </tr> <tr> <td>歩行者通路</td> <td>緑地広場・有地緑地</td> <td>札幌市</td> <td></td> </tr> <tr> <td>広場</td> <td>緑地広場・有地緑地</td> <td>緑地</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区分	位置づけ	管理主体	備考	歩行者通路	緑地広場・有地緑地	緑地管理課、緑地、札幌市		歩行者通路	緑地広場・有地緑地	札幌市		広場	緑地広場・有地緑地	緑地			
区分	位置づけ	管理主体	備考																		
歩行者通路	緑地広場・有地緑地	緑地管理課、緑地、札幌市																			
歩行者通路	緑地広場・有地緑地	札幌市																			
広場	緑地広場・有地緑地	緑地																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>位置づけ</th> <th>管理主体</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩行者通路</td> <td>緑地広場・有地緑地、その他</td> <td>緑地、札幌市、緑地管理センター、緑地管理センター（札幌市）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				区分	位置づけ	管理主体	備考	歩行者通路	緑地広場・有地緑地、その他	緑地、札幌市、緑地管理センター、緑地管理センター（札幌市）											
区分	位置づけ	管理主体	備考																		
歩行者通路	緑地広場・有地緑地、その他	緑地、札幌市、緑地管理センター、緑地管理センター（札幌市）																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>位置づけ</th> <th>管理主体</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>歩行者通路</td> <td>緑地広場・有地緑地</td> <td>札幌市</td> <td>緑地管理センター</td> </tr> <tr> <td>市民交流広場</td> <td>緑地広場・有地緑地、歩行者通路、歩行者通路（歩行者専用道）</td> <td>札幌市</td> <td>札幌市（札幌市）（札幌市）（札幌市）</td> </tr> </tbody> </table>				区分	位置づけ	管理主体	備考	歩行者通路	緑地広場・有地緑地	札幌市	緑地管理センター	市民交流広場	緑地広場・有地緑地、歩行者通路、歩行者通路（歩行者専用道）	札幌市	札幌市（札幌市）（札幌市）（札幌市）						
区分	位置づけ	管理主体	備考																		
歩行者通路	緑地広場・有地緑地	札幌市	緑地管理センター																		
市民交流広場	緑地広場・有地緑地、歩行者通路、歩行者通路（歩行者専用道）	札幌市	札幌市（札幌市）（札幌市）（札幌市）																		
<p>1) 歩行空間・広場一覧表</p> <ul style="list-style-type: none"> 区分、位置付け、管理主体 				<p>1) 歩行空間・広場の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 空地、歩行者通路、市民交流広場の位置 																	

⑥後背資源の現況調査

拠点後背圏の後背資源（観光資源・魅力資源等）の状況及び後背圏（小樽市・石狩市・江別市・北広島市）の状況について、札幌市の公式観光サイト（札幌市 HP）等のデータを用いて調査を実施し、表・図面の作成を行った。

観光・魅力資源・後背地（市外）一覧表				後背資源の状況																
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>住所</th> <th>住所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>札幌市（市外）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>札幌市（市外）</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称	住所	住所	備考	札幌市（市外）				札幌市（市外）								
名称	住所	住所	備考																	
札幌市（市外）																				
札幌市（市外）																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>住所</th> <th>住所</th> <th>住所</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>札幌市（市外）</td> <td>札幌市</td> <td>札幌市</td> <td>札幌市</td> <td></td> </tr> <tr> <td>札幌市（市外）</td> <td>札幌市</td> <td>札幌市</td> <td>札幌市</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				名称	住所	住所	住所	備考	札幌市（市外）	札幌市	札幌市	札幌市		札幌市（市外）	札幌市	札幌市	札幌市			
名称	住所	住所	住所	備考																
札幌市（市外）	札幌市	札幌市	札幌市																	
札幌市（市外）	札幌市	札幌市	札幌市																	
<p>1) 観光・魅力資源・後背地一覧表</p> <ul style="list-style-type: none"> 名称、区名、住所 駅名、後背地（行き先）、バス路線数、バス便数 				<p>1) 後背資源の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 位置、名称 																

⑦用途地域等

拠点後背圏の用途地域等の都市計画情報について、札幌市共有基本データを用いて調査を実施し、図面の作成を行った。

用途地域等の状況



- 1) 用途地域
- 2) 高度地区
- 3) 特別用途地区
- 4) 防火・準防火地域
- 5) 高度利用地区
- 6) 地区計画

⑧地元組織の状況

拠点後背圏の町内会、商店街等の地元組織の状況について、H23 年度地域課題マップ作成支援事業委託業務データ（札幌市市民まちづくり局市民自治推進室）を用いて調査を実施し、一覧表・図面の作成を行った。

町内会一覧表

区名	町内会名称	町内会住所	町内会会長	備考
1	札幌市中央区南一条町三丁目	札幌市中央区南一条町三丁目	佐藤 隆	
2	札幌市中央区南一条町五丁目	札幌市中央区南一条町五丁目	佐藤 隆	
3	札幌市中央区南一条町七丁目	札幌市中央区南一条町七丁目	佐藤 隆	
4	札幌市中央区南一条町九丁目	札幌市中央区南一条町九丁目	佐藤 隆	
5	札幌市中央区南一条町十一丁目	札幌市中央区南一条町十一丁目	佐藤 隆	
6	札幌市中央区南一条町十三丁目	札幌市中央区南一条町十三丁目	佐藤 隆	
7	札幌市中央区南一条町十五丁目	札幌市中央区南一条町十五丁目	佐藤 隆	
8	札幌市中央区南一条町十七丁目	札幌市中央区南一条町十七丁目	佐藤 隆	
9	札幌市中央区南一条町十九丁目	札幌市中央区南一条町十九丁目	佐藤 隆	
10	札幌市中央区南一条町二十一丁目	札幌市中央区南一条町二十一丁目	佐藤 隆	
11	札幌市中央区南一条町二十三丁目	札幌市中央区南一条町二十三丁目	佐藤 隆	
12	札幌市中央区南一条町二十五丁目	札幌市中央区南一条町二十五丁目	佐藤 隆	
13	札幌市中央区南一条町二十七丁目	札幌市中央区南一条町二十七丁目	佐藤 隆	
14	札幌市中央区南一条町二十九丁目	札幌市中央区南一条町二十九丁目	佐藤 隆	
15	札幌市中央区南一条町三十一丁目	札幌市中央区南一条町三十一丁目	佐藤 隆	
16	札幌市中央区南一条町三十三丁目	札幌市中央区南一条町三十三丁目	佐藤 隆	
17	札幌市中央区南一条町三十五丁目	札幌市中央区南一条町三十五丁目	佐藤 隆	
18	札幌市中央区南一条町三十七丁目	札幌市中央区南一条町三十七丁目	佐藤 隆	
19	札幌市中央区南一条町三十九丁目	札幌市中央区南一条町三十九丁目	佐藤 隆	
20	札幌市中央区南一条町四十一丁目	札幌市中央区南一条町四十一丁目	佐藤 隆	
21	札幌市中央区南一条町四十三丁目	札幌市中央区南一条町四十三丁目	佐藤 隆	
22	札幌市中央区南一条町四十五丁目	札幌市中央区南一条町四十五丁目	佐藤 隆	
23	札幌市中央区南一条町四十七丁目	札幌市中央区南一条町四十七丁目	佐藤 隆	
24	札幌市中央区南一条町四十九丁目	札幌市中央区南一条町四十九丁目	佐藤 隆	
25	札幌市中央区南一条町五十一丁目	札幌市中央区南一条町五十一丁目	佐藤 隆	
26	札幌市中央区南一条町五十三丁目	札幌市中央区南一条町五十三丁目	佐藤 隆	
27	札幌市中央区南一条町五十五丁目	札幌市中央区南一条町五十五丁目	佐藤 隆	
28	札幌市中央区南一条町五十七丁目	札幌市中央区南一条町五十七丁目	佐藤 隆	
29	札幌市中央区南一条町五十九丁目	札幌市中央区南一条町五十九丁目	佐藤 隆	
30	札幌市中央区南一条町六十一丁目	札幌市中央区南一条町六十一丁目	佐藤 隆	
31	札幌市中央区南一条町六十三丁目	札幌市中央区南一条町六十三丁目	佐藤 隆	
32	札幌市中央区南一条町六十五丁目	札幌市中央区南一条町六十五丁目	佐藤 隆	
33	札幌市中央区南一条町六十七丁目	札幌市中央区南一条町六十七丁目	佐藤 隆	
34	札幌市中央区南一条町六十九丁目	札幌市中央区南一条町六十九丁目	佐藤 隆	
35	札幌市中央区南一条町七十一丁目	札幌市中央区南一条町七十一丁目	佐藤 隆	
36	札幌市中央区南一条町七十三丁目	札幌市中央区南一条町七十三丁目	佐藤 隆	
37	札幌市中央区南一条町七十五丁目	札幌市中央区南一条町七十五丁目	佐藤 隆	
38	札幌市中央区南一条町七十七丁目	札幌市中央区南一条町七十七丁目	佐藤 隆	
39	札幌市中央区南一条町七十九丁目	札幌市中央区南一条町七十九丁目	佐藤 隆	
40	札幌市中央区南一条町八十一丁目	札幌市中央区南一条町八十一丁目	佐藤 隆	
41	札幌市中央区南一条町八十三丁目	札幌市中央区南一条町八十三丁目	佐藤 隆	
42	札幌市中央区南一条町八十五丁目	札幌市中央区南一条町八十五丁目	佐藤 隆	
43	札幌市中央区南一条町八十七丁目	札幌市中央区南一条町八十七丁目	佐藤 隆	
44	札幌市中央区南一条町八十九丁目	札幌市中央区南一条町八十九丁目	佐藤 隆	
45	札幌市中央区南一条町九十一丁目	札幌市中央区南一条町九十一丁目	佐藤 隆	
46	札幌市中央区南一条町九十三丁目	札幌市中央区南一条町九十三丁目	佐藤 隆	
47	札幌市中央区南一条町九十五丁目	札幌市中央区南一条町九十五丁目	佐藤 隆	
48	札幌市中央区南一条町九十七丁目	札幌市中央区南一条町九十七丁目	佐藤 隆	
49	札幌市中央区南一条町九十九丁目	札幌市中央区南一条町九十九丁目	佐藤 隆	
50	札幌市中央区南一条町一丁目	札幌市中央区南一条町一丁目	佐藤 隆	

- 1) 町内会一覧表
 - ・区名、連合町内会名、単位町内会名、まちセン名

商店街・町内会の状況



- 1) 商店街の状況
 - ・位置、名称
- 2) 町内会の状況
 - ・位置、名称

(2) 拠点間比較

各拠点における調査結果を踏まえ、拠点間比較・分析が可能となるグラフの作成を行った。



- 1) 性格
 - ・建物用途分類（延床面積・構成比）
- 2) 機能集積の傾向
 - ・公共施設・生活利便施設（件数・構成比）
- 3) 人口動態傾向
 - ・人口（実数、年齢3区分）
 - ・人口増減（H17→H23）
 - ・一般世帯数（実数、構成比）
 - ・世帯構成（実数、構成比）
 - ・住宅所有構成（構成比）

(3) 分析

現況調査及び拠点間比較の結果を用いて、性格（住居、事務所、飲食、物販など）、機能集積の傾向（医療、社会福祉、子育て支援、教育文化、商業など）、人口動態傾向（人口増減、年齢構成、世帯構成、住宅所有構成など）の分析を行い、分析コメント一覧としてとりまとめた。

項目		検討箇所	
		300m	800m
①性格	建物用途現況	<ul style="list-style-type: none"> ・住居系施設の延床面積については、円山公園が45.2万㎡と最も大きく、次いで、平塚が40.9万㎡、北24条及びJR等駅が33.2万㎡となっている。また、延床面積が最も小さい地区は真駒内が5.8万㎡であり、次いで樺平橋が8.2万㎡となっている。 ・住居系施設割合（延床面積）については、南郷13丁目が93%と最も高く、次いで、ひばりが丘が89%、美園・厚別が87%となっている。また、割合が最も低い地区は西11丁目の17%であり、次いで新さっぽろの23%となっている。 ・商業系施設の延床面積については、新さっぽろが25.5万㎡と最も大きく、次いで、中島公園が22.1万㎡、西11丁目が17.7万㎡となっている。また、延床面積が最も小さい地区は豊平公園で0.2万㎡であり、次いで、厚別・南郷13丁目・発寒中央・環状通が0.4万㎡となっている。 ・商業系施設割合（延床面積）については、新札幌地区が49%と最も高く、次いで、中島公園地区、福住となっている。また、割合が最も低い地区は豊平公園・厚別の1%となっている。 ・業系施設の延床面積については、西11丁目が34.0万㎡と最も大きく、次いで、西18丁目が8.8万㎡、中島公園が7.3万㎡となっている。また、延床面積が最も小さい地区は真駒内地区で業系施設が存在しないという状況であり、次いで、自衛隊前が0.1万㎡、樺平橋が0.2万㎡となっている。 ・業系施設割合（延床面積）については、西11丁目が37%と最も高く、次いで、西18丁目・中島公園の15%、北12条の14%となっている。また、割合が最も低い地区は自衛隊前の1%であり、次いで、樺平橋の2%となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・住居系施設の延床面積については、西18丁目が165.7万㎡と最も大きく、次いで、西23丁目の151.3万㎡、地下鉄等駅の144.0万㎡となっている。また、延床面積が最も小さい地区は自衛隊前が51.2万㎡であり、次いで、発寒内の51.7万㎡、樺路の52.3万㎡となっている。 ・住居系施設割合（延床面積）については、樺平橋が86%と最も高く、次いで、豊川・元町・発寒中央が84%となっている。また、割合が最も低い地区は西11丁目の32%となっている。 ・商業系施設の延床面積については、中島公園が103.7万㎡と最も大きく、次いで、西11丁目の45.4万㎡、地下鉄等駅の32.3万㎡となっている。また、延床面積が最も小さい地区は自衛隊前が0.8万㎡であり、次いで、発寒中央・真駒内が2.2万㎡となっている。 ・商業系施設割合（延床面積）については、中島公園が43%と最も高く、次いで、新さっぽろが21%、JR等駅が16%となっている。また、割合が最も低い地区は自衛隊前の1%となっている。 ・業系施設の延床面積については、西11丁目が116.8万㎡と最も大きく、次いで、西18丁目が43.9万㎡、北12条が42.4万㎡となっている。また、延床面積が最も小さい地区は真駒内が0.1万㎡であり、次いで、自衛隊前の0.8万㎡、樺路の2.0万㎡となっている。 ・業系施設割合（延床面積）については、西11丁目が32%と最も高く、次いで、北12条の17%、西18丁目の16%となっている。また、割合が最も低い地区は真駒内の0%となっている。
		施設立地状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設及び生活利便施設の立地数については、中島公園が40件と最も多く、次いで、西11丁目の28件、東区役所の23件となっている。また、立地数が最も少ないのは厚別の2件となっている。構成比率については、拠点間傾向が大きく異なっており、立地施設の種類にばらつきが見られる。 ・行政施設については、全体平均で14件となっており、最も立地が多い地区は西11丁目（5件）となっている。 ・学校教育・文化施設については、全体平均で26件となっており、最も立地が多い地区は西18丁目（11件）となっている。 ・社会福祉施設については、全体平均で1.7件となっており、最も立地が多い地区は北24条・西11丁目・栄町・元町・新等駅・JR等駅（3件）となっている。

平成 25 年度

拠点の現況調査・解析業務

【 拠点別カルテ 】

平成 26 年 2 月

札幌市市民まちづくり局都市計画部地域計画課

目次

1. 拠点間比較・分析結果

- ①各拠点の性格（建物用途分類）
- ②機能集積の傾向
- ③人口動態傾向
- ④分析コメント

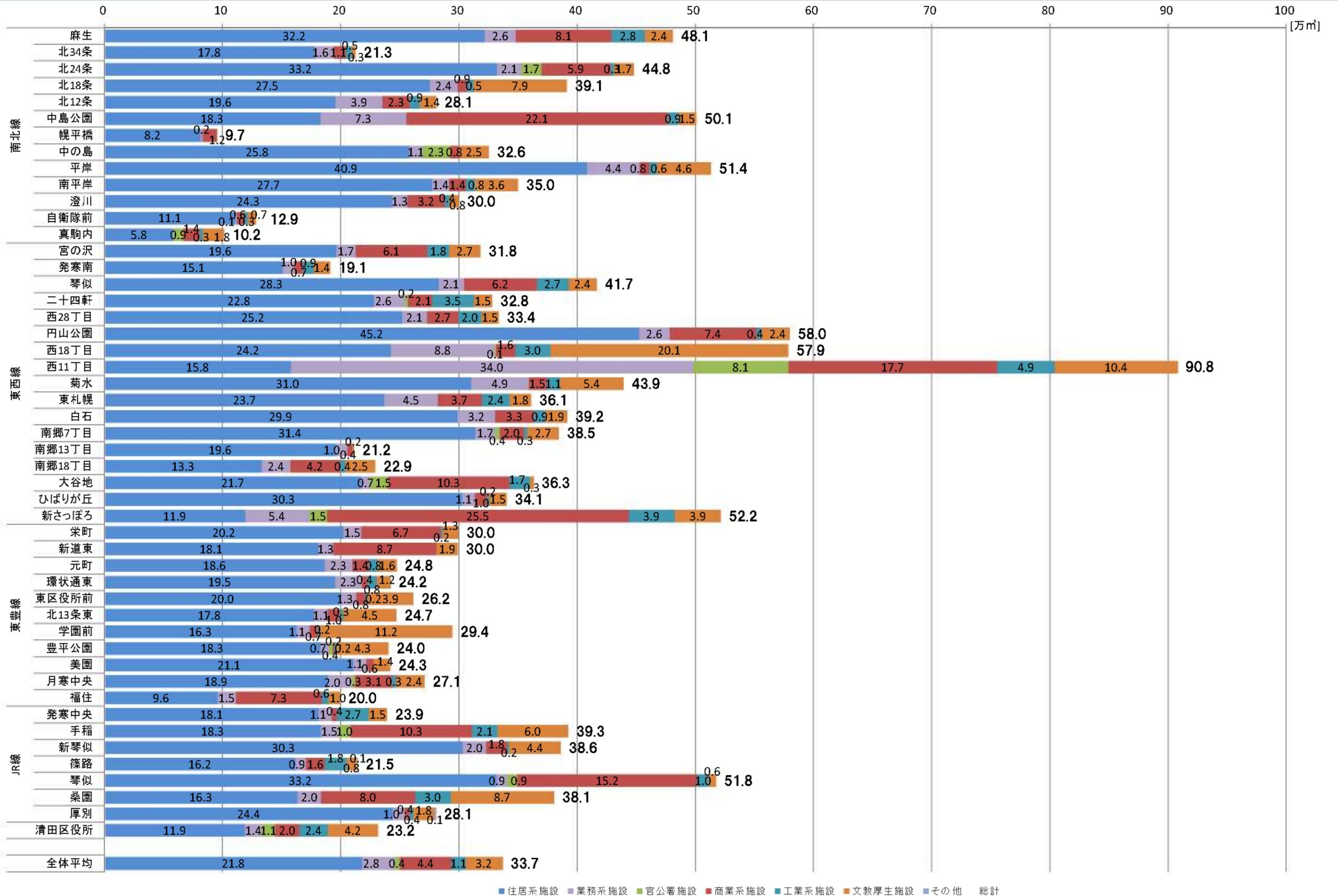
2. 拠点別カルテの概要

3. 拠点別カルテ

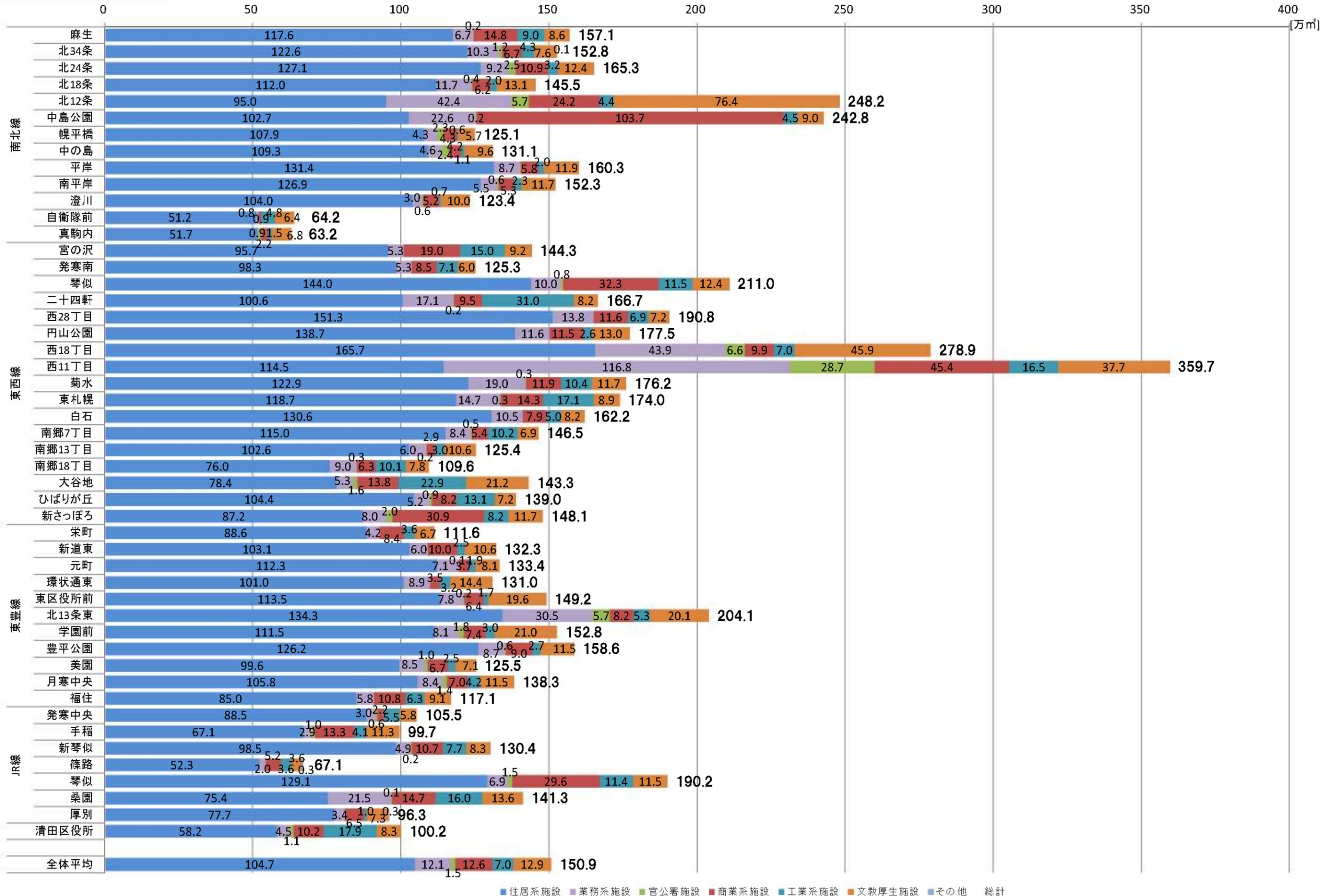
No.	路線名	駅名等	No.	路線名	駅名等	No.	路線名	駅名等
南北1	南北線	麻生	東西1	東西線	宮の沢	JR1	JR線	発寒中央
南北2		北34条	東西2		発寒南	JR2		手稲
南北3		北24条	東西3		琴似	JR3		新琴似
南北4		北18条	東西4		二十四軒	JR4		篠路
南北5		北12条	東西5		西28丁目	JR5		琴似
南北6		中島公園	東西6		円山公園	JR6		桑園
南北7		幌平橋	東西7		西18丁目	JR7		厚別
南北8		中の島	東西8		西11丁目	その他		清田区役所
南北9		平岸	東西9		菊水			麻生・新琴似
南北10		南平岸	東西10		東札幌			地下鉄琴似・JR琴似
南北11		澄川	東西11		白石			
南北12		自衛隊前	東西12		南郷7丁目			
南北13		真駒内	東西13		南郷13丁目			
東豊1	東豊線	栄町	東西14		南郷18丁目			
東豊2		新道東	東西15		大谷地			
東豊3		元町	東西16		ひばりが丘			
東豊4		環状通東	東西17		新札幌			
東豊5		東区役所前						
東豊6		北13条東						
東豊7		学園前						
東豊8		豊平公園						
東豊9		美園						
東豊10		月寒中央						
東豊11		福住						

拠点の現況調査・解析業務【拠点別カルテの概要】					
No.	項目	調査内容	詳細	調査資料	時点
0. 参考図					
	①位置図	-	調査対象拠点の位置が把握可能な図面	-	-
	②町名・条丁目	-	町名・条丁目が把握可能な図面	札幌市共有基本データ（町名）	平成24年度版
1. 人口等の動向調査					
	①人口等の動向調査	調査対象区域内（都市計画基礎調査小ゾーン単位）における人口・世帯数等の動向調査結果を整理	人口（総数、年齢別（三区区分）） 人口密度（グロス・ネット） 世帯（総数） 世帯構造（単独、高齢単身、高齢夫婦、その他） 住宅所有構成（持家、借家等）	住民基本台帳 国勢調査	H8.4.1、H12.4.1、 H17.4.1、H23.4.1 H17.10.1、H22.10.1
2. 土地利用現況調査					
	①土地利用動向	調査対象区域内（都市計画基礎調査小ゾーン単位）における土地利用の動向調査結果を整理	土地利用動向（宅地、農地、森林、原野、道路、河川・湖沼、公園緑地、その他） 建物用途別動向（建物用途分類は全34分類を5分類（住居系・商業系・工業系・文教厚生・その他）に集約し集計） 構造別建物動向（木造、簡易耐火造、耐火構造） 建物用途別高さ動向 敷地規模別動向 建ぺい率・容積率動向	都市計画基礎調査データ	H23.3.31
	②大規模未利用地状況	大規模未利用地の調査結果を整理	大規模未利用地状況（位置・利用状況（未利用宅地、未利用原野、青空駐車場等）	都市計画基礎調査データ	H23.3.31
	③老朽建物状況	老朽建物の調査結果を整理	老朽建物状況（位置・規模）	都市計画基礎調査データ	H23.3.31
	④開発履歴	土地区画整理事業や再開発事業の状況等を整理	再開発事業（位置・名称・施行者、施工期間、施工面積、建物名称、延床面積、主要用途、総事業費） 土地区画整理事業（位置、名称、施行者、施行期間、施工面積、認可年月日、換地処分月日、総事業費、減歩率）	札幌市共有基本データ（第一種市街地再開発事業） 札幌市共有基本データ（土地区画整理事業）	H24.9.28 H25.10.1
3. 公共施設等の現況調査					
	①公共施設等の状況	調査対象区域内の公共施設及び生活利便施設（商業施設、医療施設、宿泊施設、娯楽施設）の状況を整理	行政施設、学校教育・文化施設、社会福祉施設、児童福祉・子育て支援施設、医療施設、商業施設、宿泊施設、娯楽施設、警察・消防・郵便局、公営住宅、スポーツ施設、その他	・H23年度地域課題マップ作成支援事業委託業務データ ・都市計画基礎調査データ	・H23年度 ・H23.3.31
4. 公共交通の現況調査					
	①地下鉄・JR・バスの状況	地下鉄の開設年次、乗車人員（動向）等を整理	開設年次 乗車人員（動向） バリアフリー状況（EV、ES） 地下接続状況（出入口数、位置）	札幌の都市交通データ	- H8、H12、H17、H23 H24.10.1
		JRの開設年次、乗車人員（動向）等を整理	開設年次 乗車人員（動向） バリアフリー状況（EV、ES）	札幌の都市交通データ	- H8、H12、H17、H23 H24.10.1
		バス路線数・バス便数を整理	バス路線数・バス便数	札幌の都市交通データ	H24.4.1
	②乗継施設	乗継施設等を整理	バスターミナル パーク&ライド駐車場 自転車駐車場 駅前広場・交通広場	札幌の都市交通データ	H24.10.1 H24.10.1 - H24.10.1
5. 広場の現況調査					
	①歩行空間・広場	広場等（公開空地、歩行者通路、市民交流広場）の状況を整理	空地（歩道上空地、歩道沿い空地、歩行者専用通路、敷地内通路、植樹帯、公共空地、広場） 空中歩廊 歩行者通路（歩行者専用道路、歩道、地下歩道、地下街、自転車歩行者専用道路） 市民交流広場	地区計画書・計画図等 地区計画書・計画図等 札幌の都市交通データ、地区計画書・計画図等 札幌市の区勢	- - - -
6. 後背資源の現況調査					
	①観光資源・魅力資源	後背資源（観光資源・魅力資源等）の状況について整理	観光資源、魅力資源（位置、名称）	札幌市HP等	-
	②後背地（市外）	後背圏（小樽市・石狩市・江別市・北広島市）の状況について整理	駅名、後背地（行き先）、バス路線数、バス便数	札幌の都市交通データ	H24.10.1
7. 用途地域等					
	①用途地域等	用途地域等都市計画情報を整理	用途地域 高度地区 特別用途地区（大規模集客施設制限地区等） 防火・準防火地区 高度利用地区 地区計画	札幌市共有基本データ（用途地域） 札幌市共有基本データ（高度地区） 札幌市共有基本データ（特別工業地区、特別業務地区他） 札幌市共有基本データ（防火地域及び準防火地域） 札幌市共有基本データ（高度利用地区） 札幌市共有基本データ（地区計画）	H24.12.4 H24.12.4 H24.8.10他 H24.8.10 H24.9.28 H24.12.4
8. 地元組織の現況調査					
	①商店街の状況	商店街の状況等を整理	商店街（位置、名称）	H23年度地域課題マップ作成支援事業委託業務データ	H23
	②町内会の状況	町内会の状況等を整理	町内会（位置、連合町内会名、単位町内会名、まちセン名）		

○ 半径300m圏 建物用途分類面積(延べ床面積)

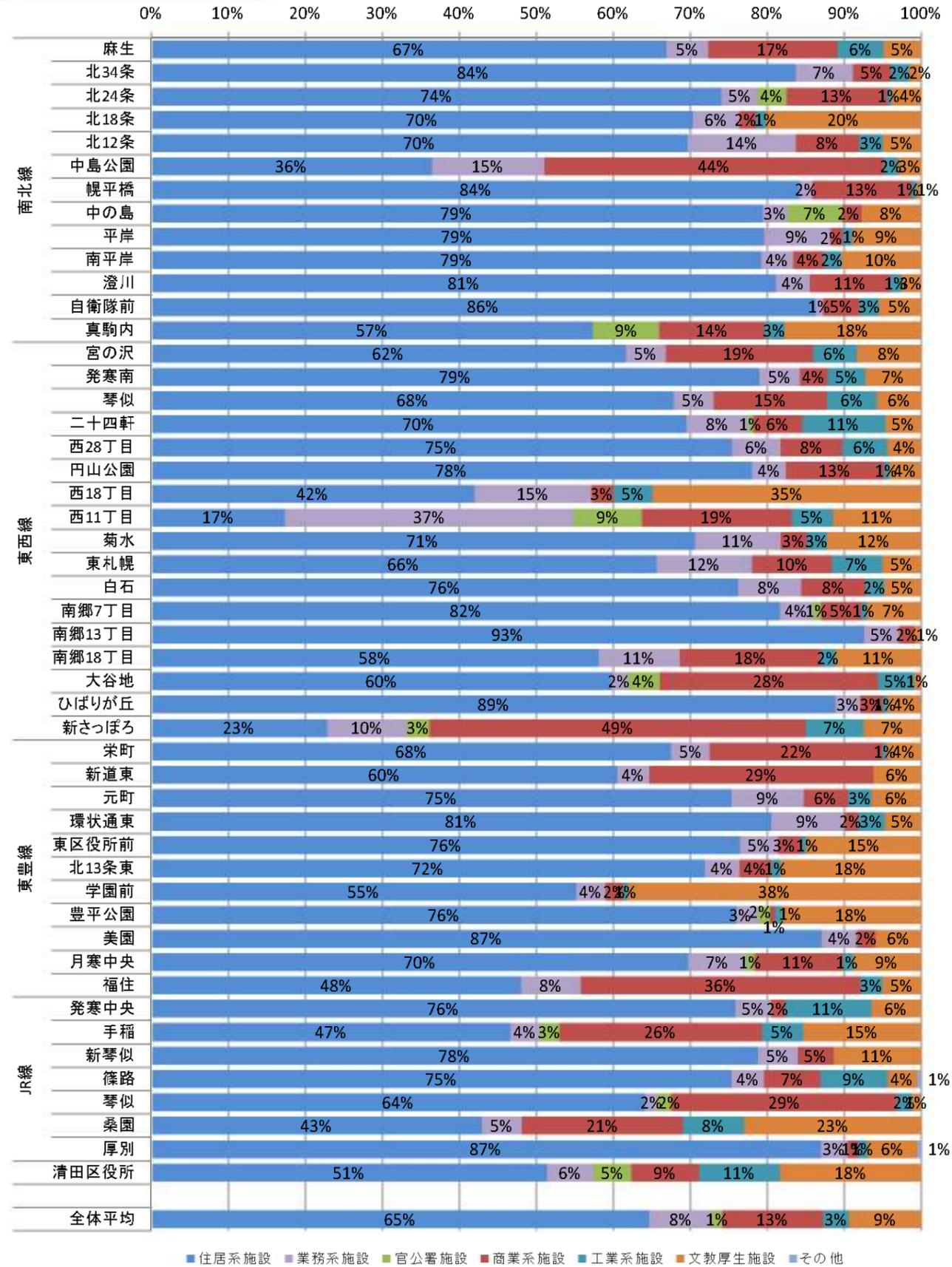


○ 半径800m圏 建物用途分類面積(延べ床面積)

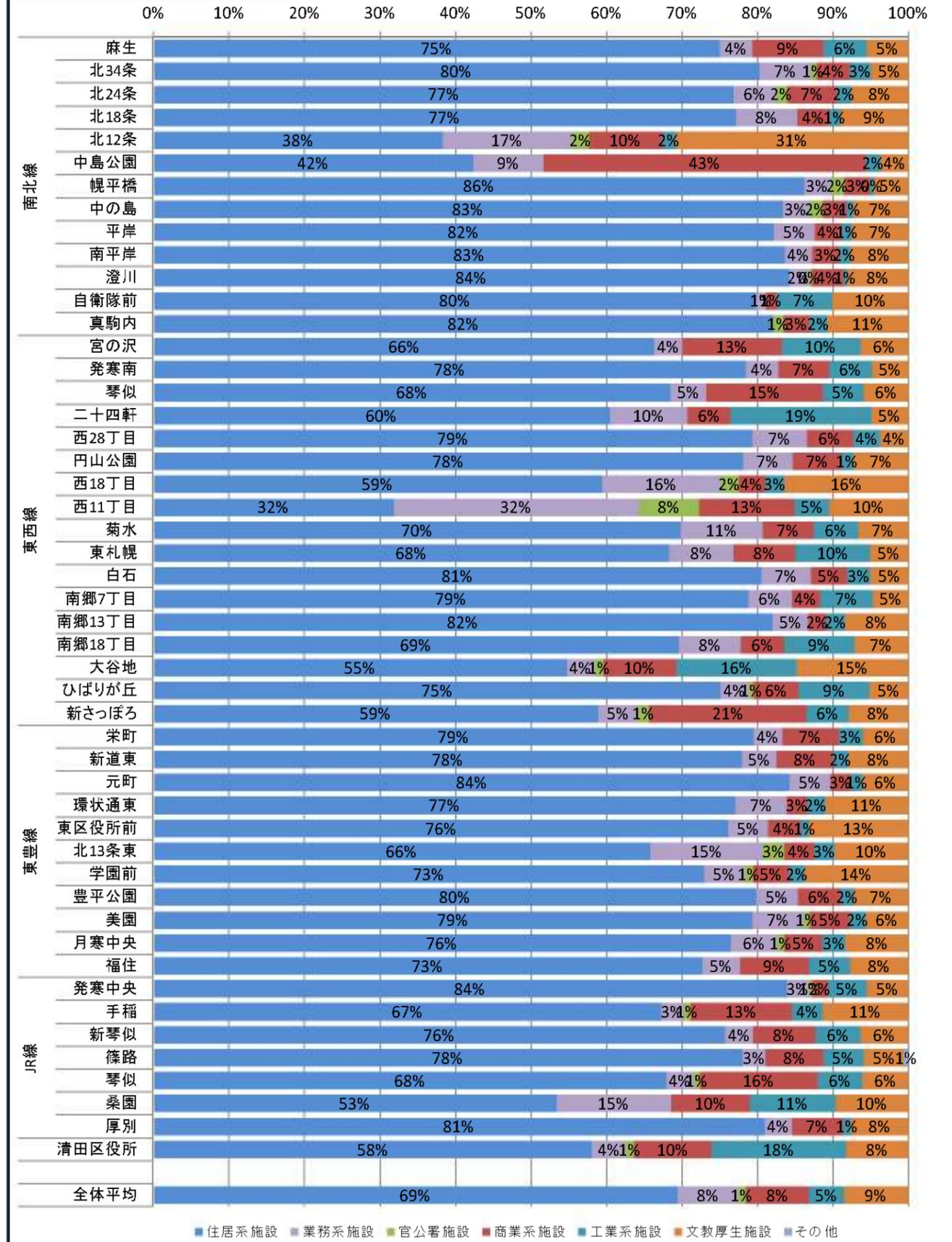


■住居系施設 ■業務系施設 ■官公署施設 ■商業系施設 ■工業系施設 ■文教厚生施設 ■その他 総計

○ 半径300m圏 建物用途分類構成比(延べ床面積)



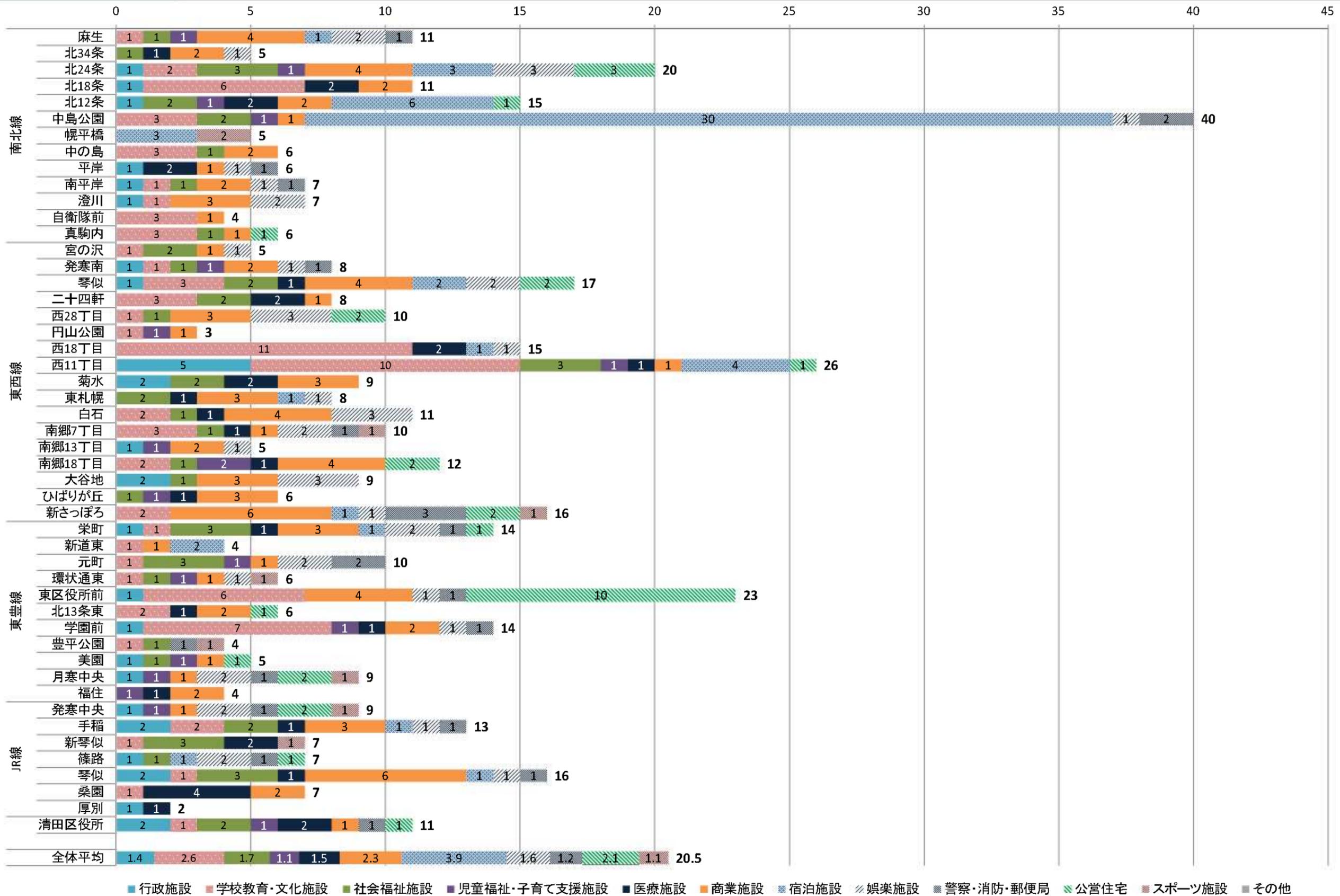
○ 半径800m圏 建物用途分類構成比(延べ床面積)



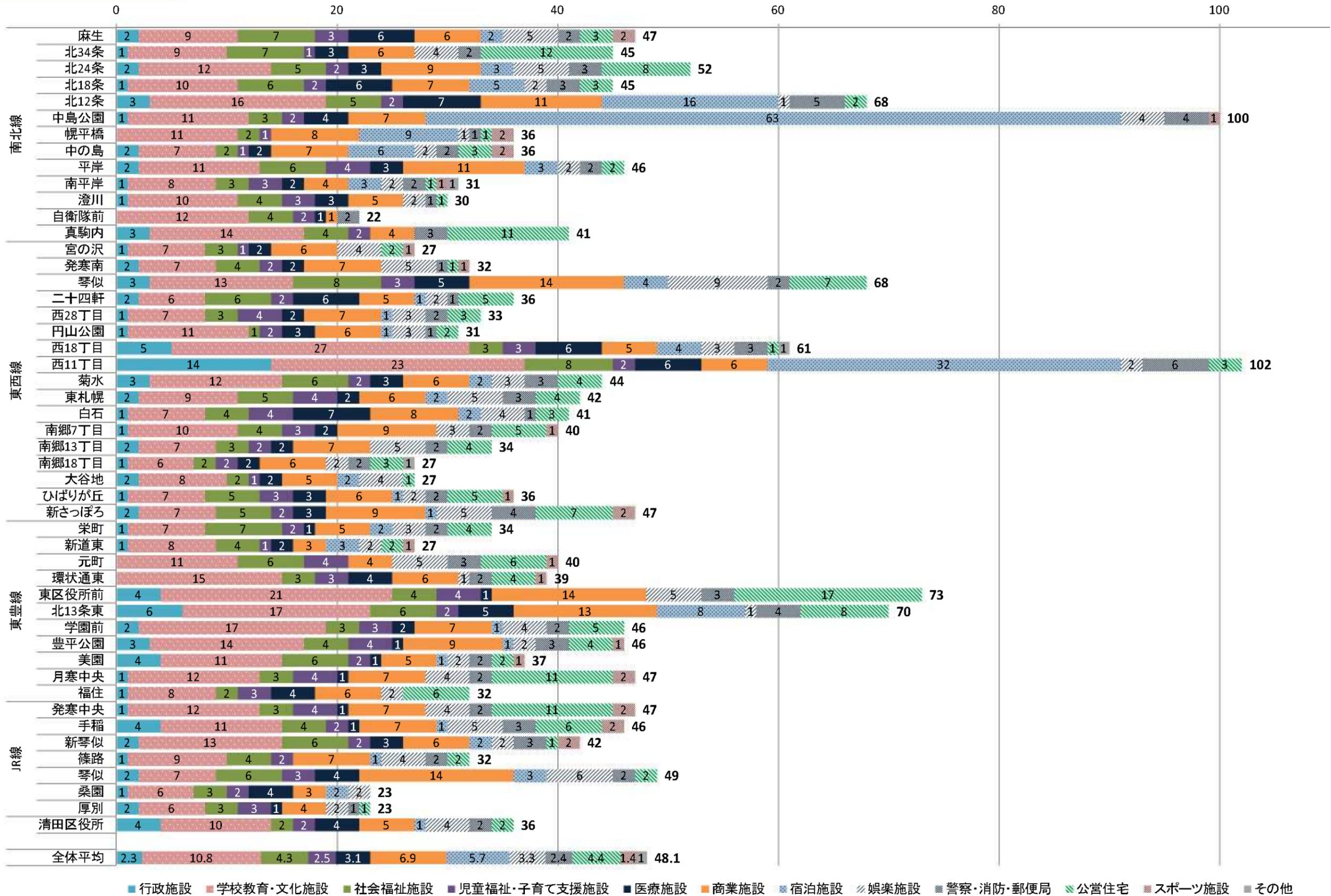
■住居系施設 ■業務系施設 ■官公署施設 ■商業系施設 ■工業系施設 ■文教厚生施設 ■その他

■住居系施設 ■業務系施設 ■官公署施設 ■商業系施設 ■工業系施設 ■文教厚生施設 ■その他

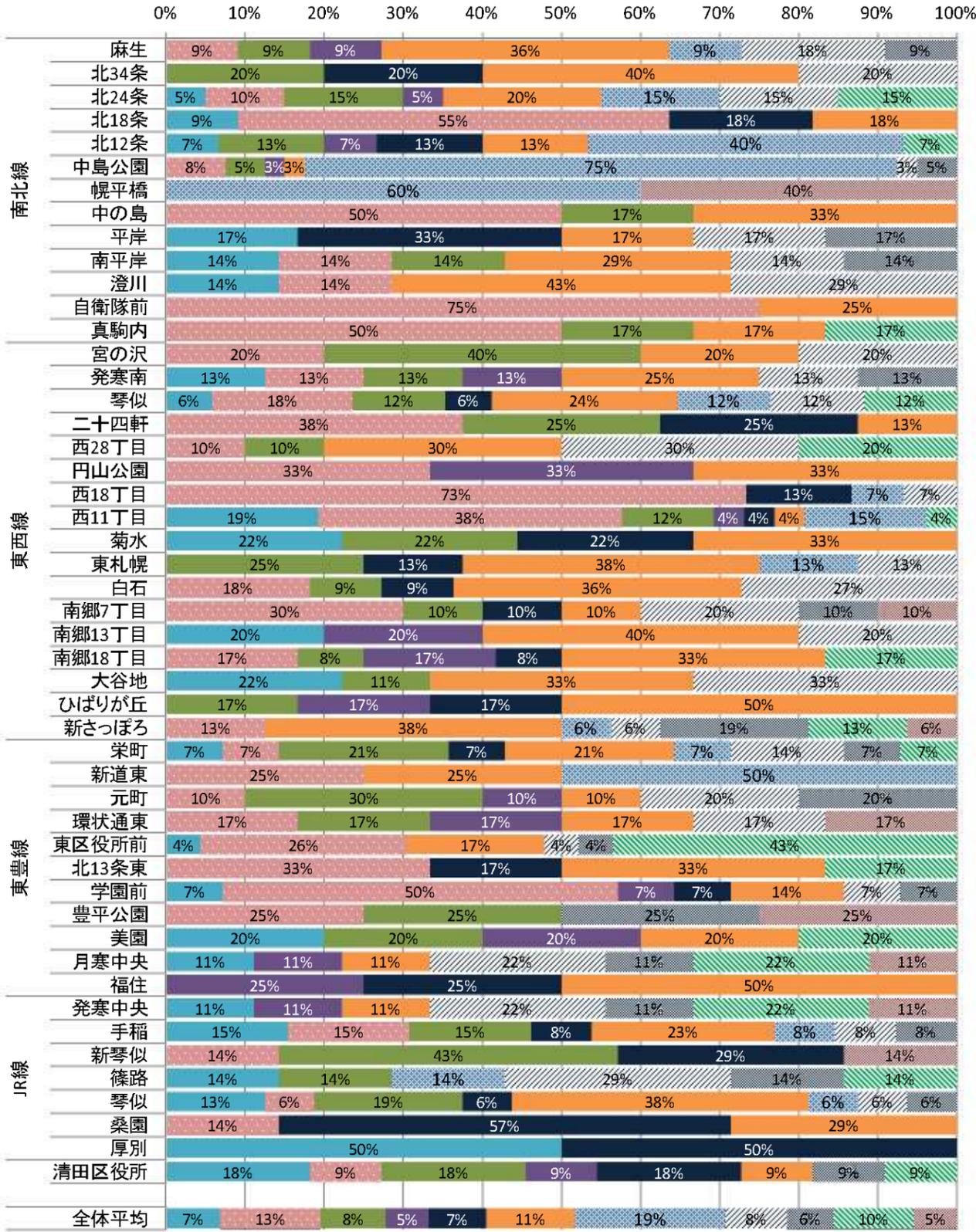
○ 半径300m圏 公共施設・生活利便施設数



○ 半径800m圏 公共施設・生活利便施設数

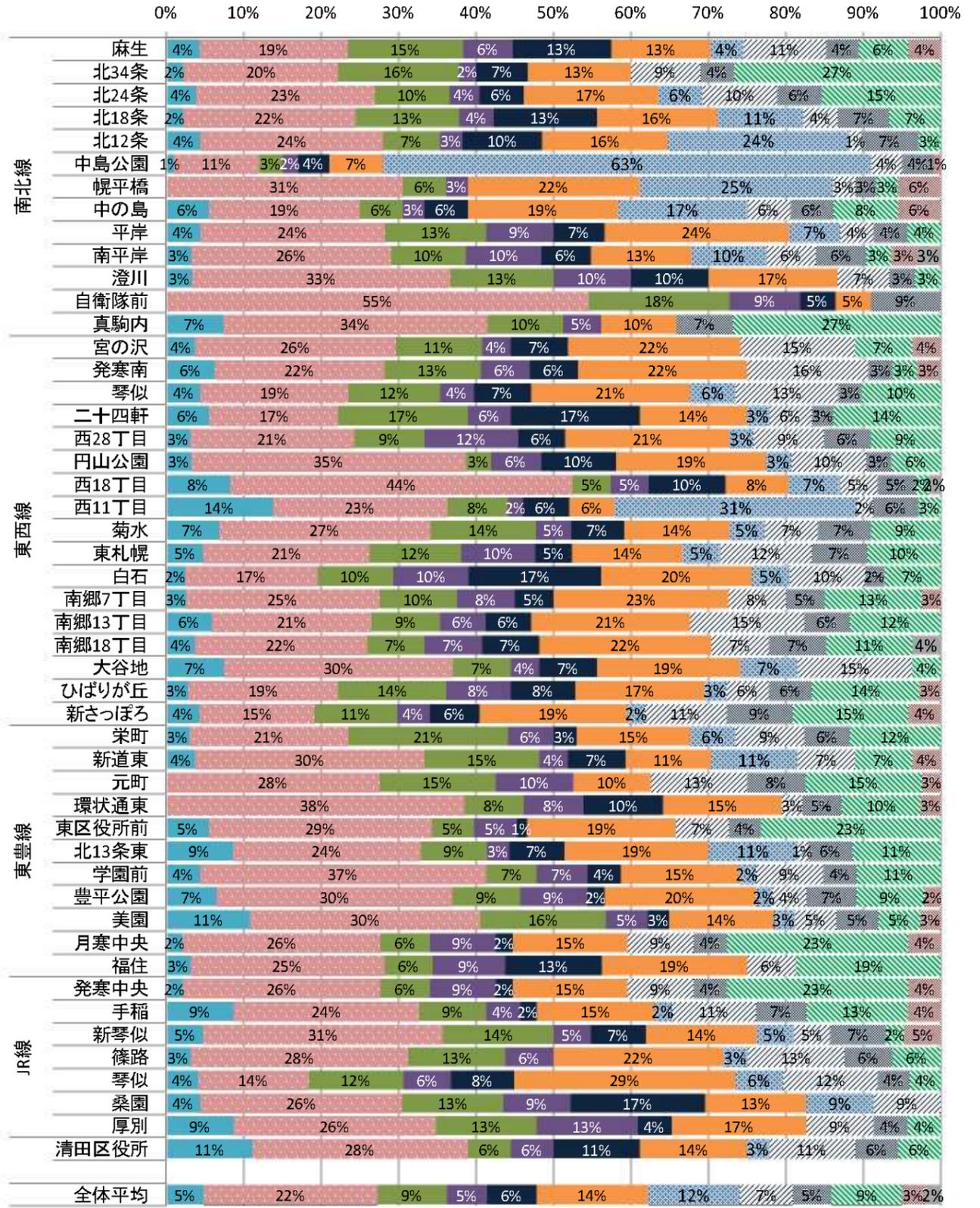


○ 半径300m圏 公共施設・生活利便施設構成比



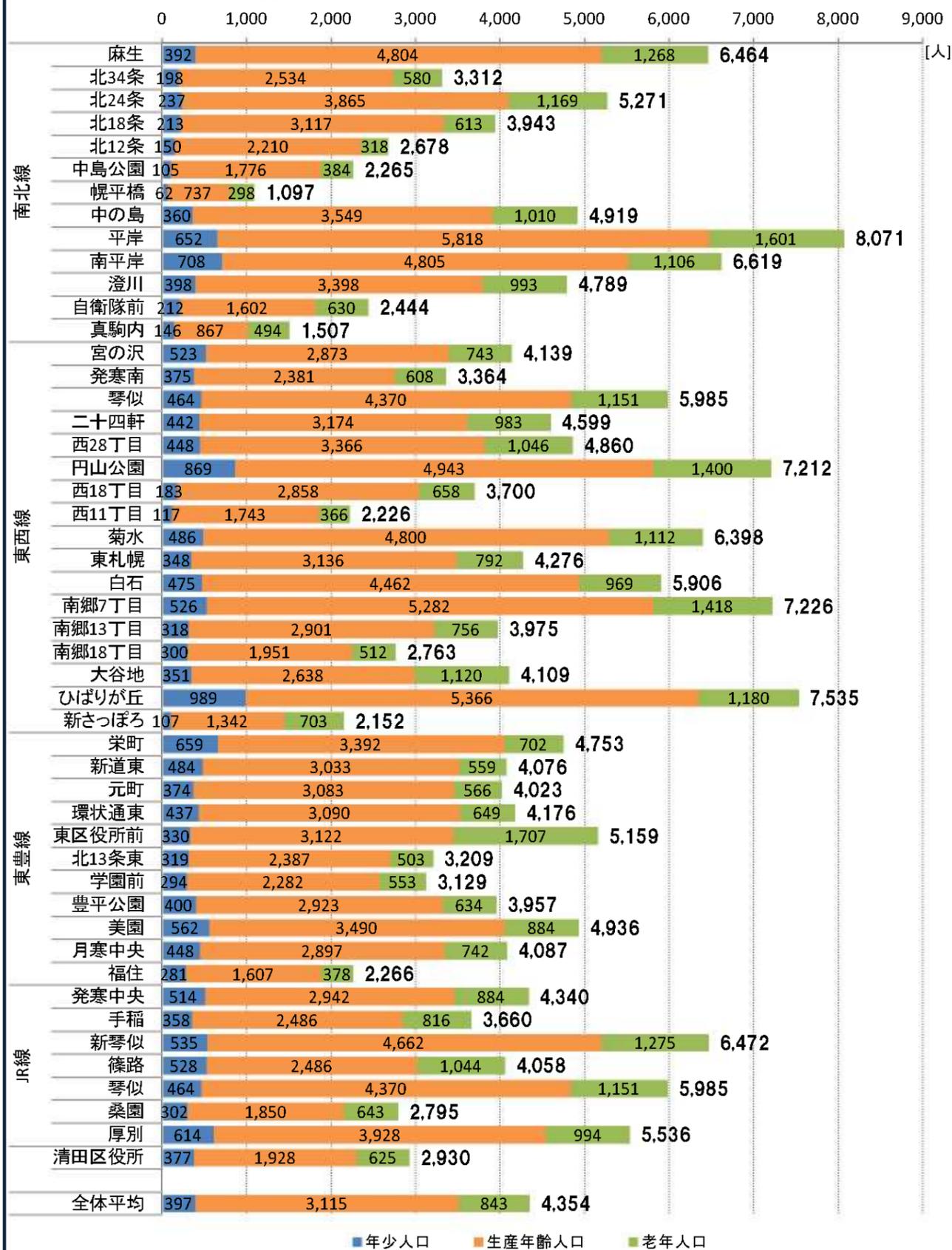
■ 行政施設 ■ 学校教育・文化施設 ■ 社会福祉施設 ■ 児童福祉・子育て支援施設
 ■ 医療施設 ■ 商業施設 ■ 宿泊施設 ■ 娯楽施設
 ■ 警察・消防・郵便局 ■ 公営住宅 ■ スポーツ施設 ■ その他

○ 半径800m圏 公共施設・生活利便施設構成比

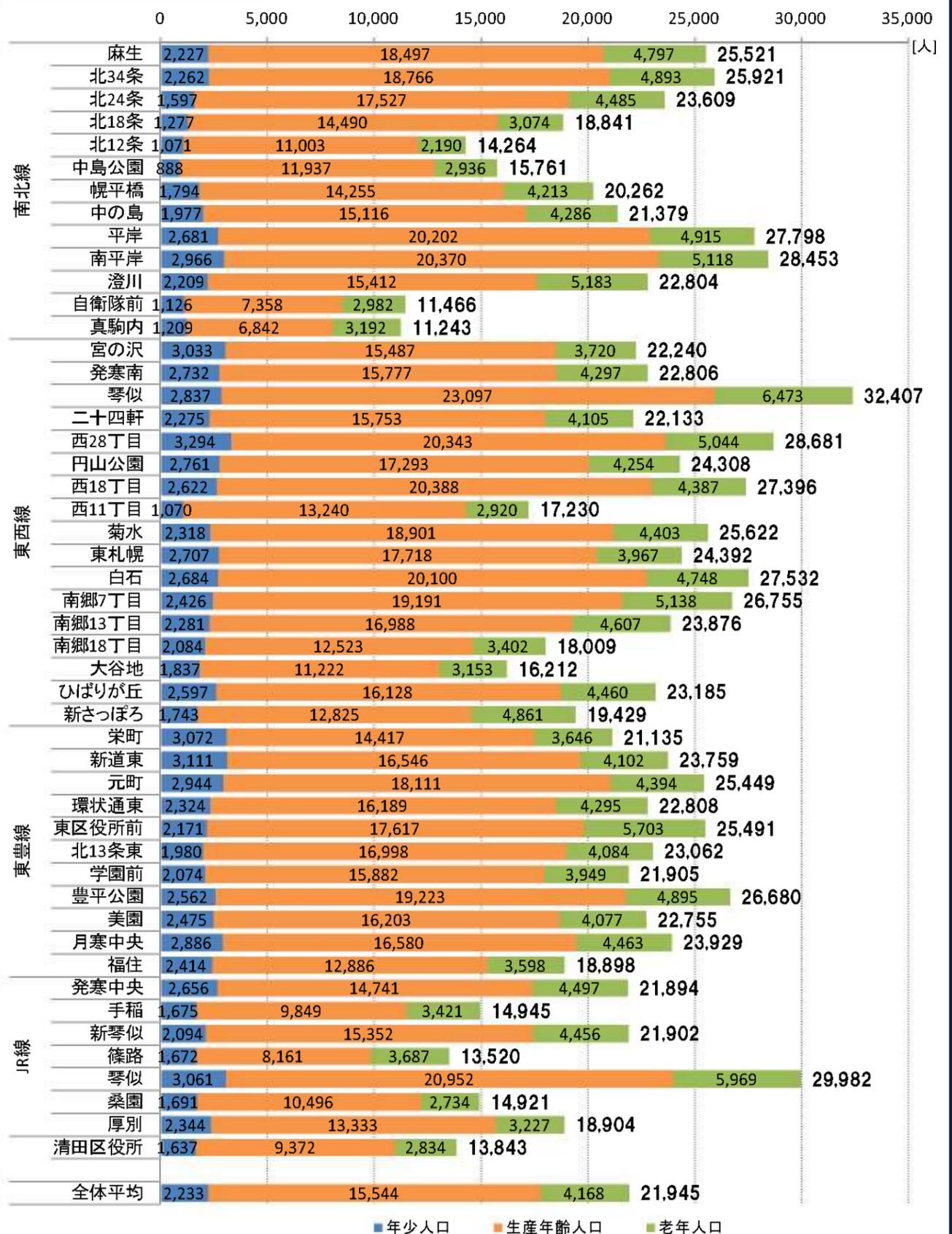


■ 行政施設 ■ 学校教育・文化施設 ■ 社会福祉施設 ■ 児童福祉・子育て支援施設
 ■ 医療施設 ■ 商業施設 ■ 宿泊施設 ■ 娯楽施設
 ■ 警察・消防・郵便局 ■ 公営住宅 ■ スポーツ施設 ■ その他

○ 半径300m圏 人口(総数)



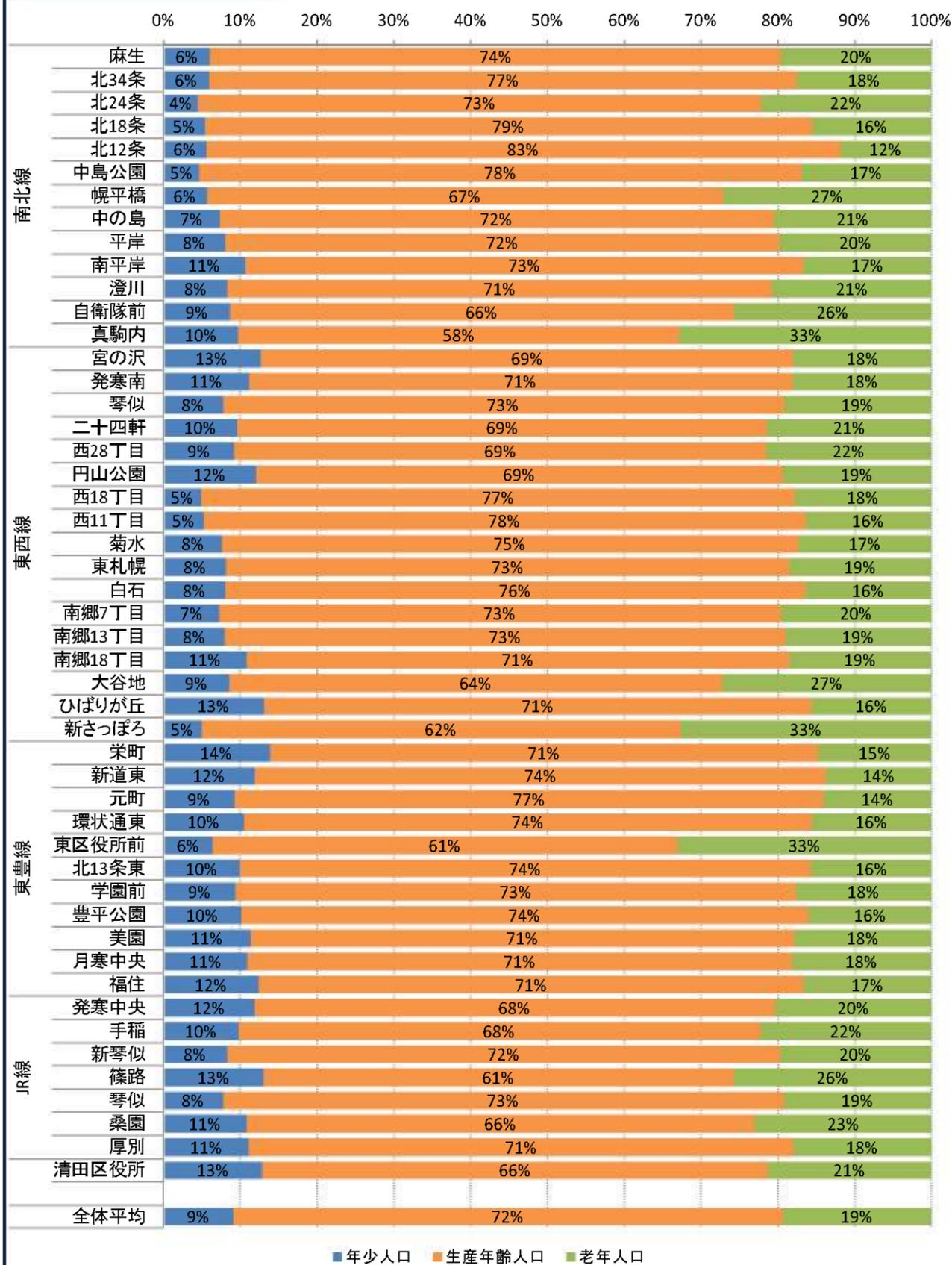
○ 半径800m圏 人口(総数)



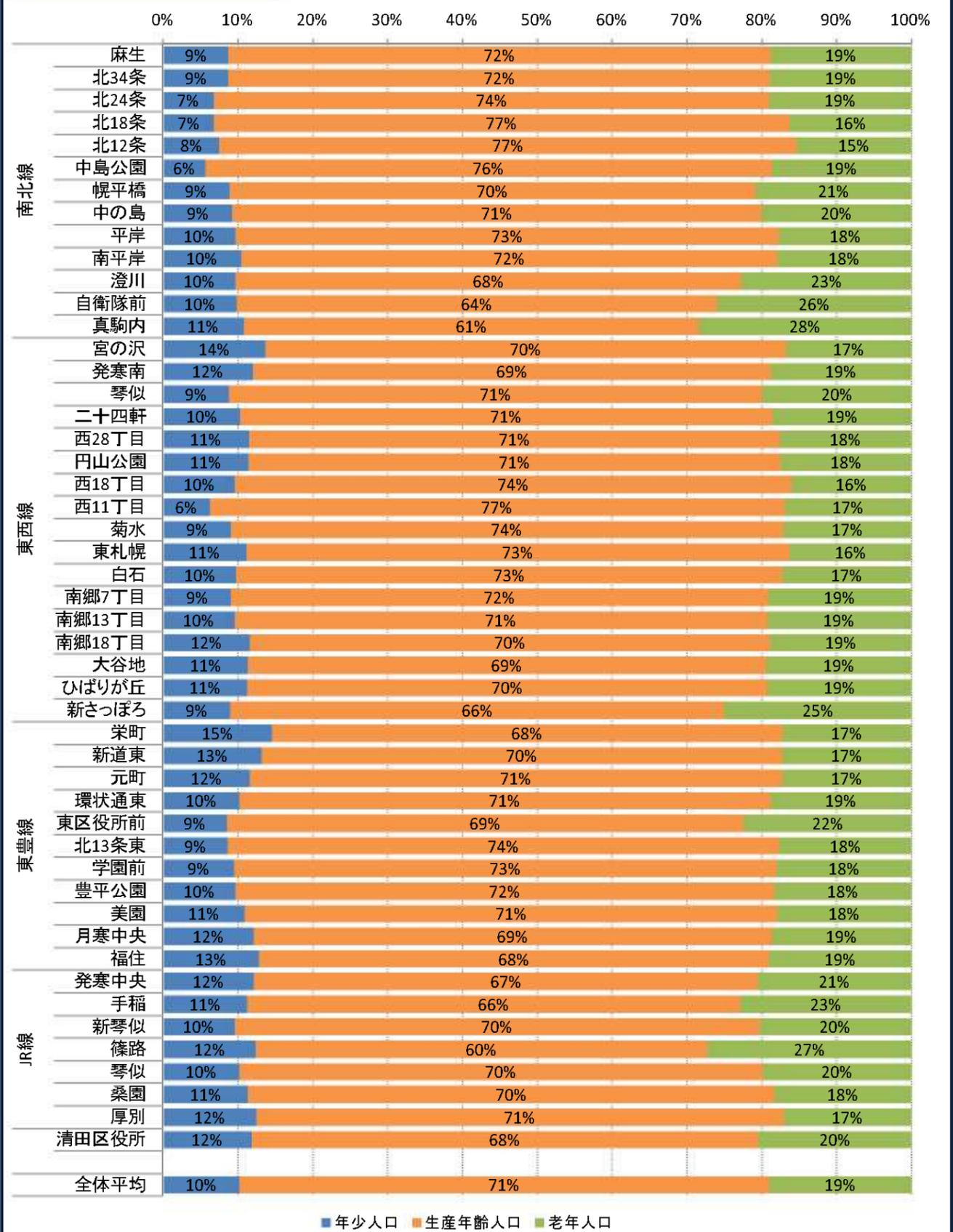
■年少人口 ■生産年齢人口 ■老年人口

■年少人口 ■生産年齢人口 ■老年人口

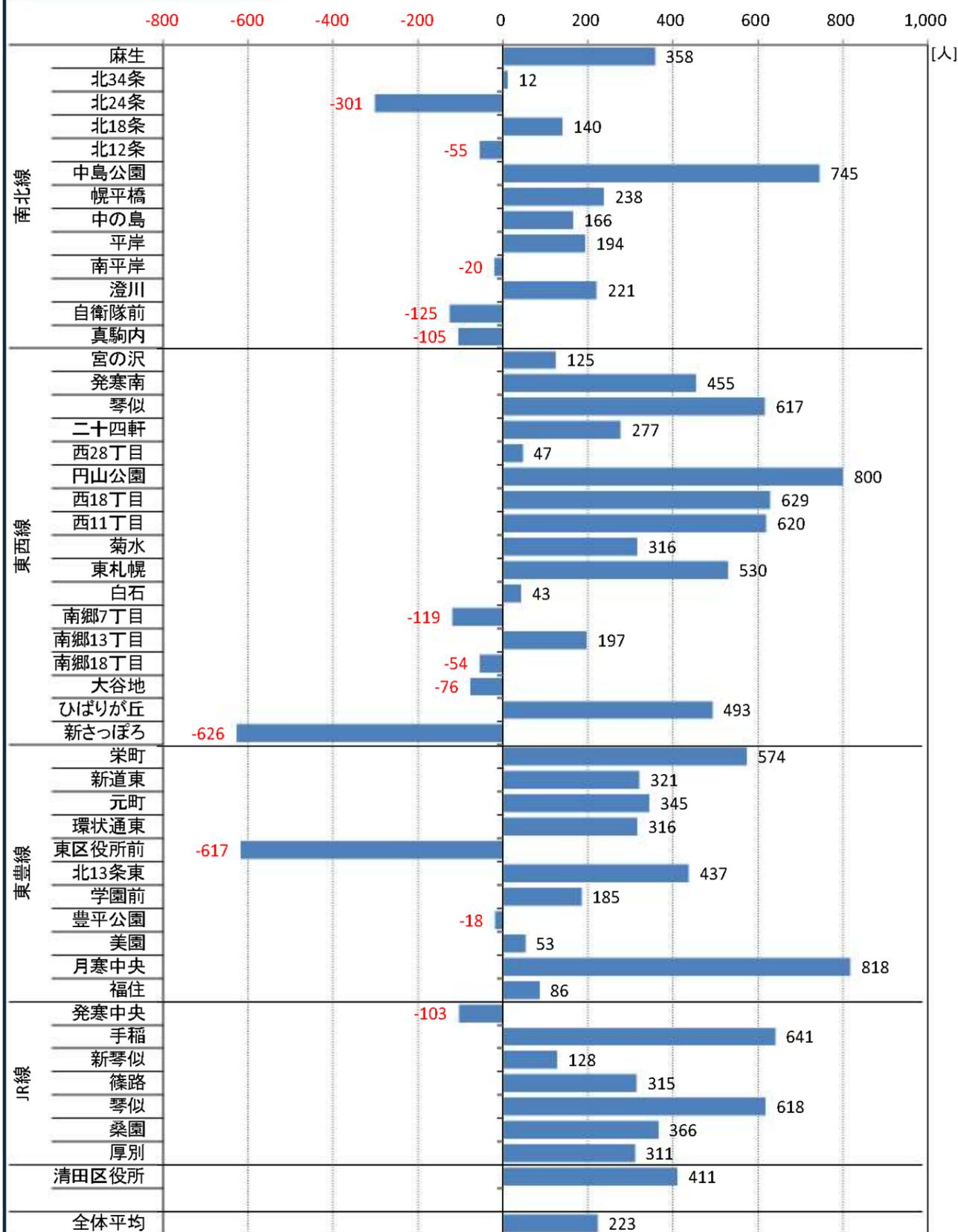
○ 半径300m圏 年齢構成(3区分)



○ 半径800m圏 年齢構成(3区分)

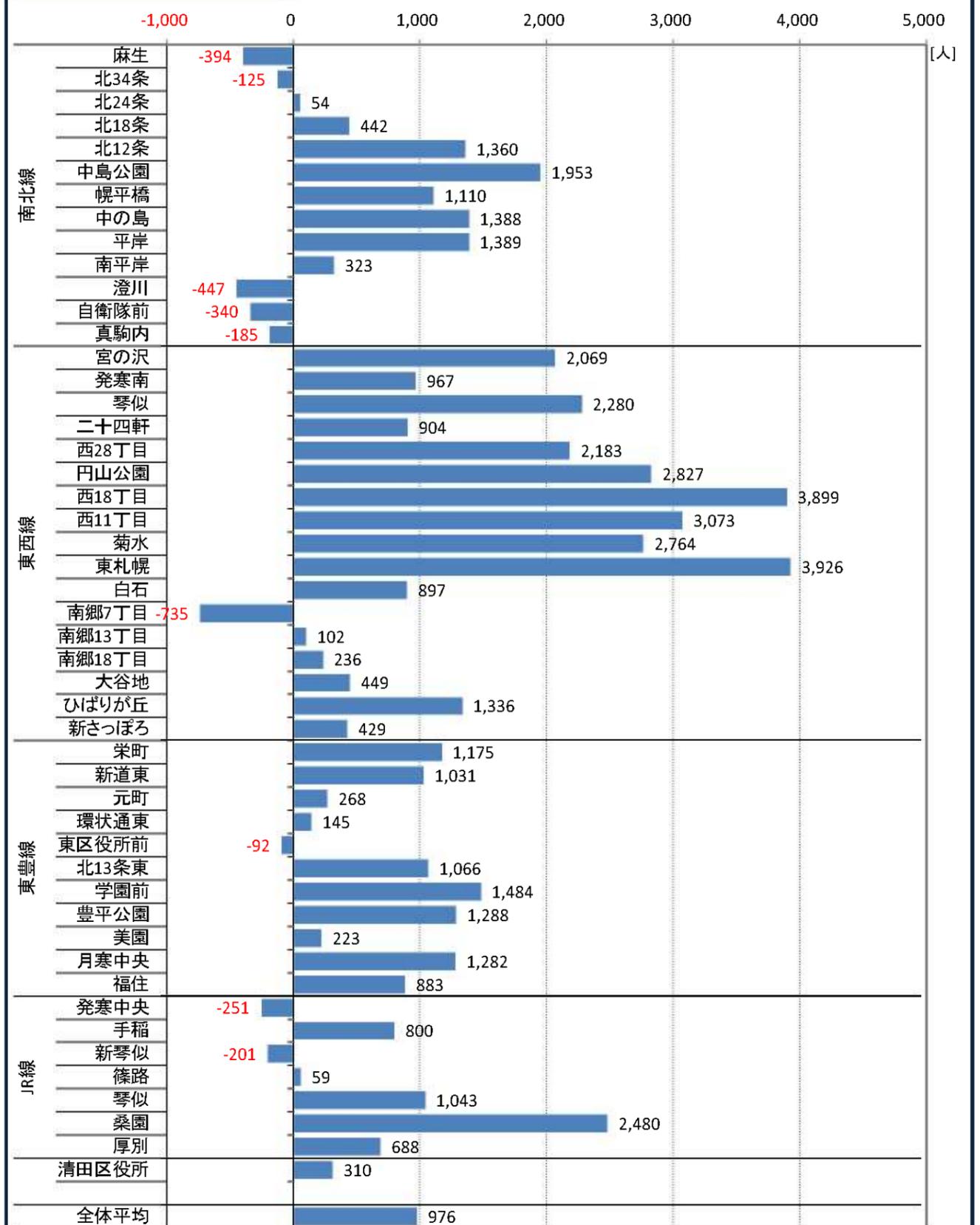


○ 半径300m圏 人口増減(H17→H23)



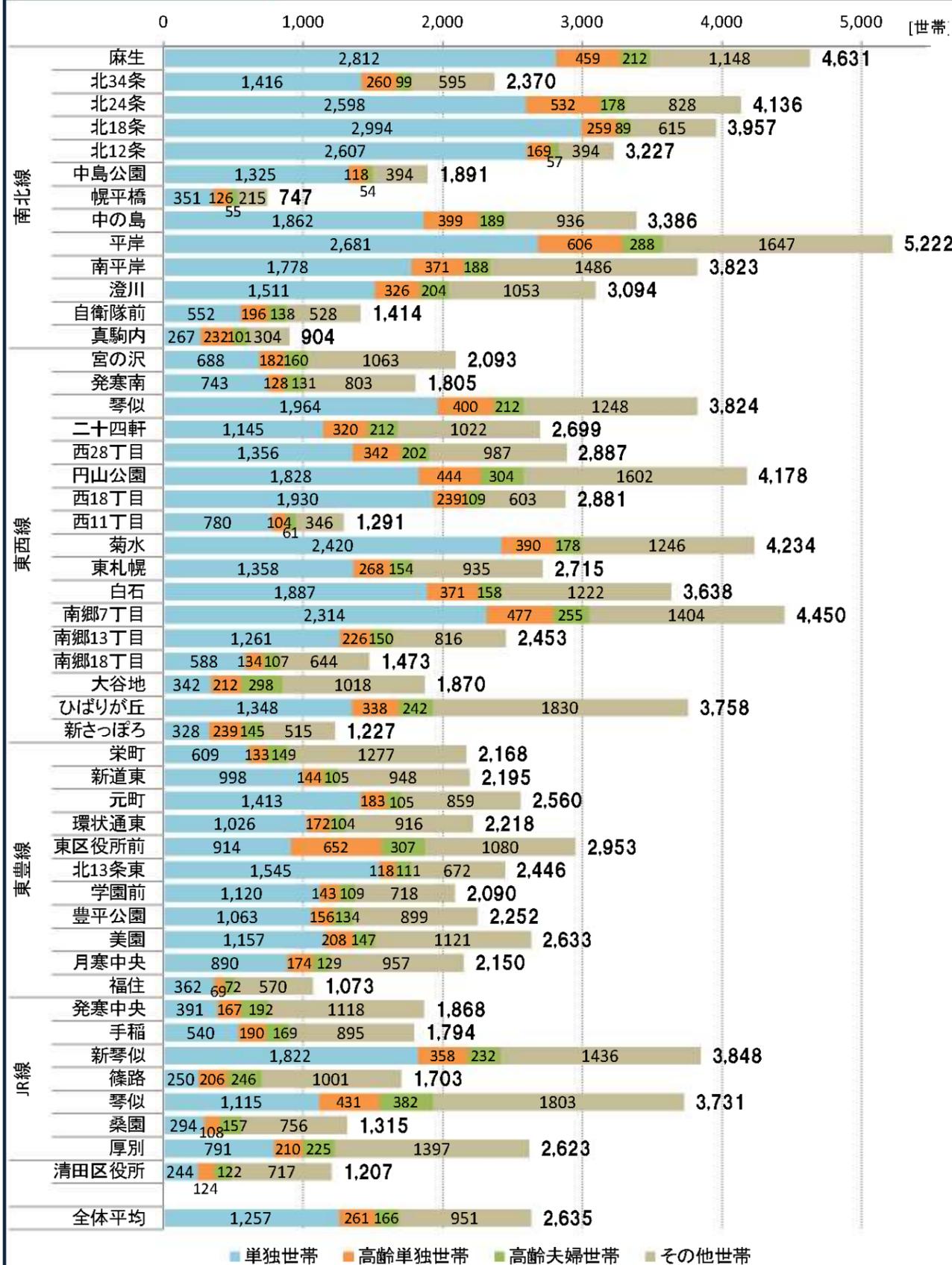
■ 人口増減(H17→H23)

○ 半径800m圏 人口増減(H17→H23)

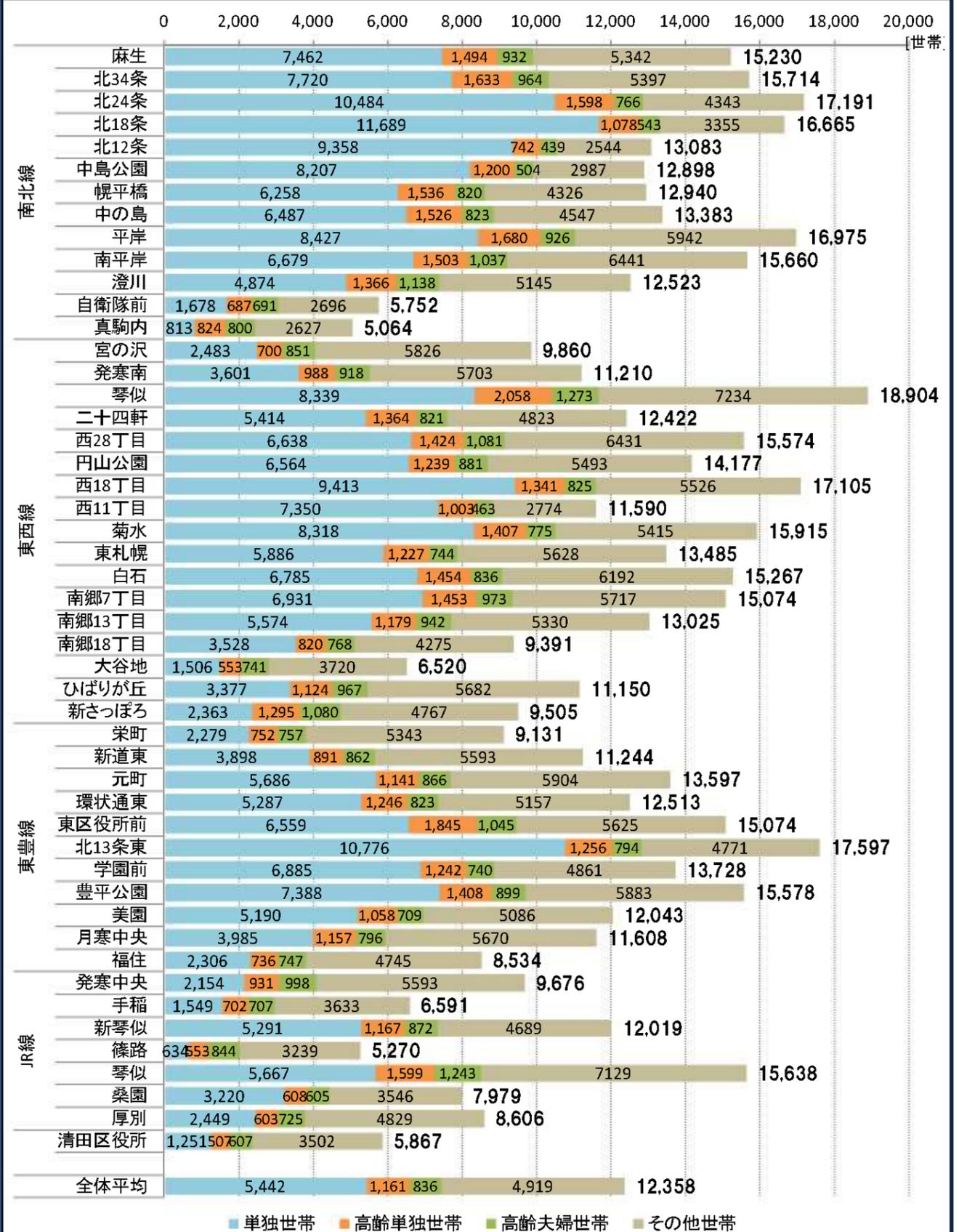


■ 人口増減(H17→H23)

○ 半径300m圏 一般世帯数



○ 半径800m圏 一般世帯数

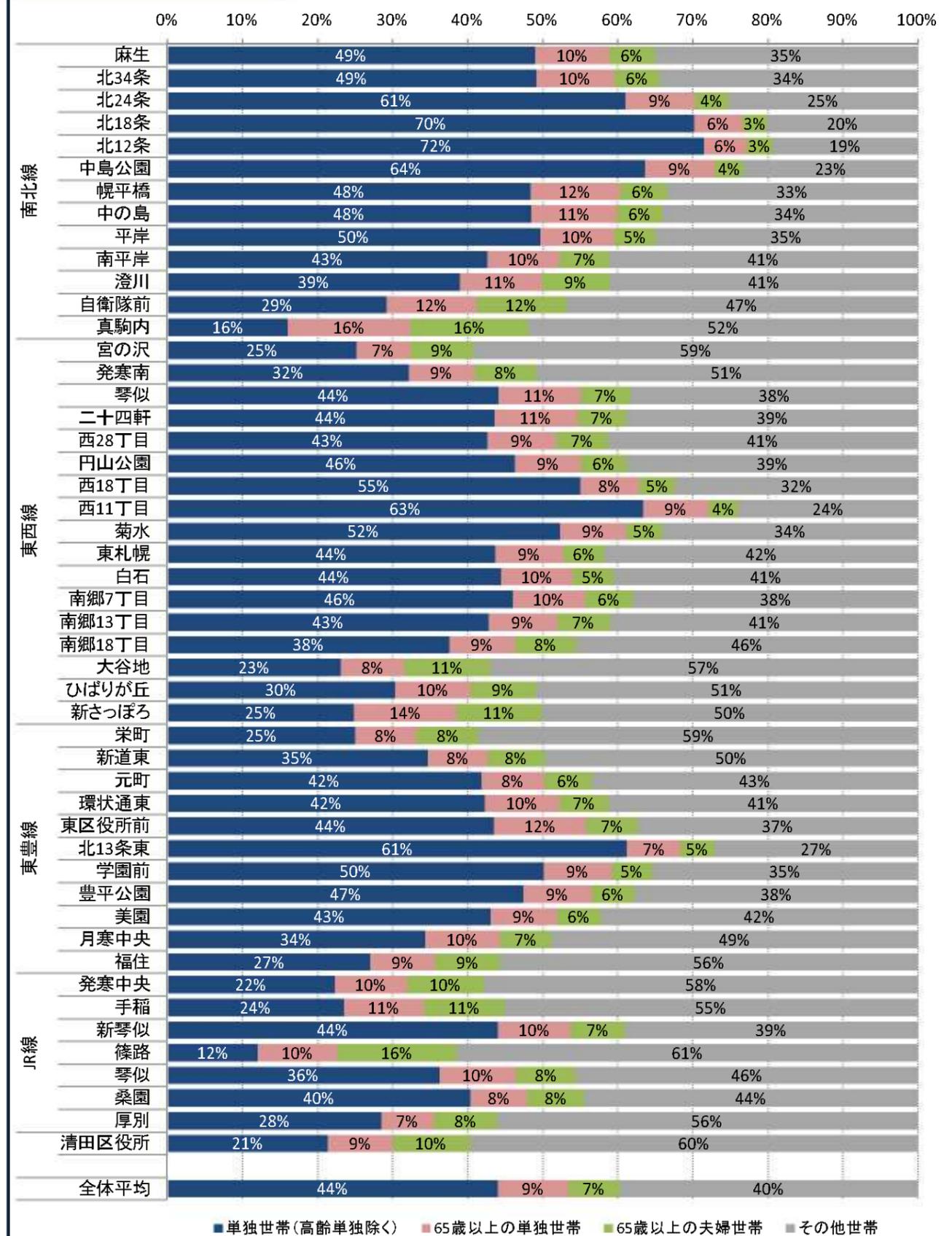
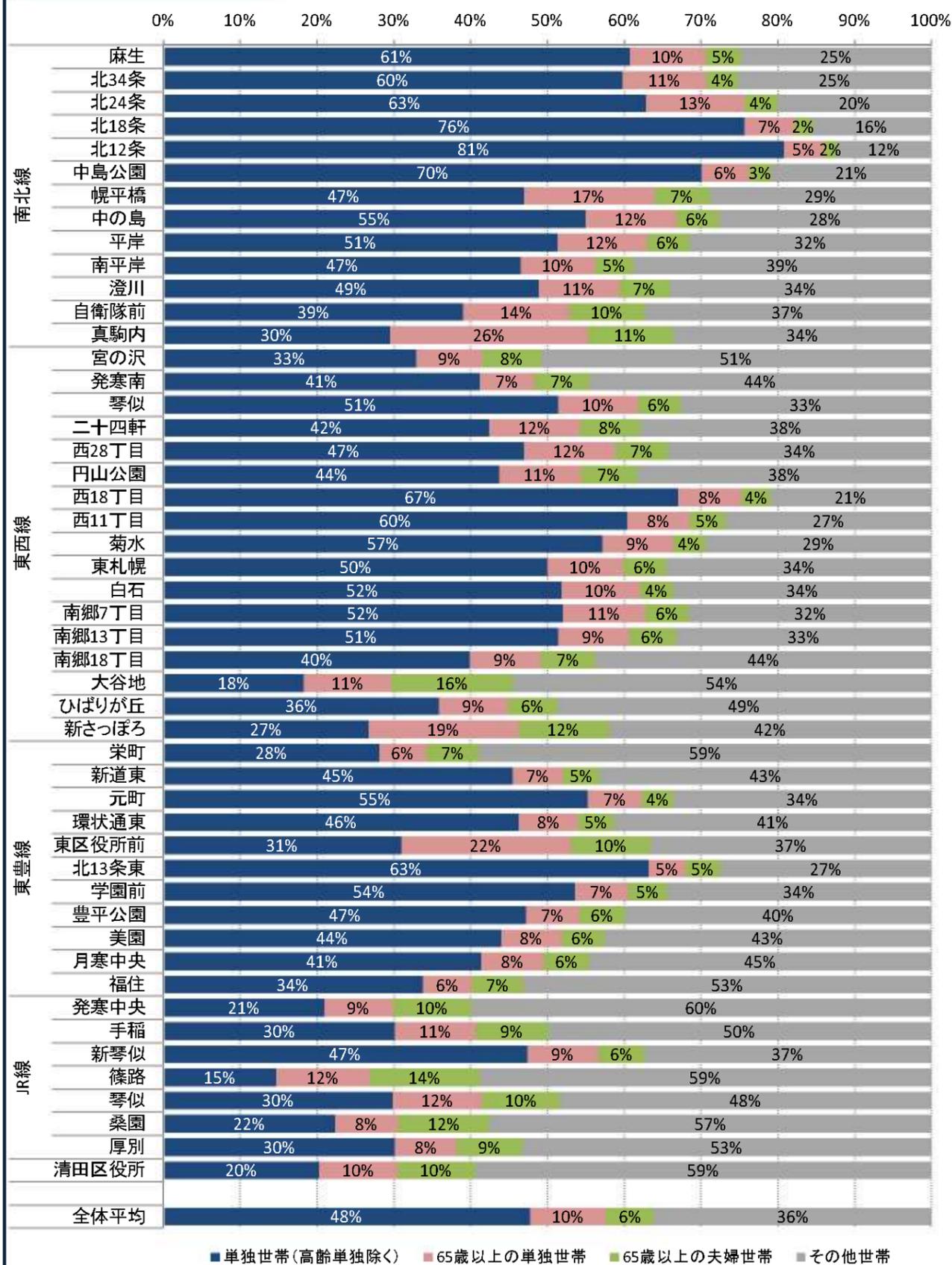


■ 単独世帯 ■ 高齢単独世帯 ■ 高齢夫婦世帯 ■ その他世帯

■ 単独世帯 ■ 高齢単独世帯 ■ 高齢夫婦世帯 ■ その他世帯

○ 半径300m圏 世帯構成(単独世帯、高齢単身、高齢夫婦、その他の割合)

○ 半径800m圏 世帯構成(単独世帯、高齢単身、高齢夫婦、その他の割合)

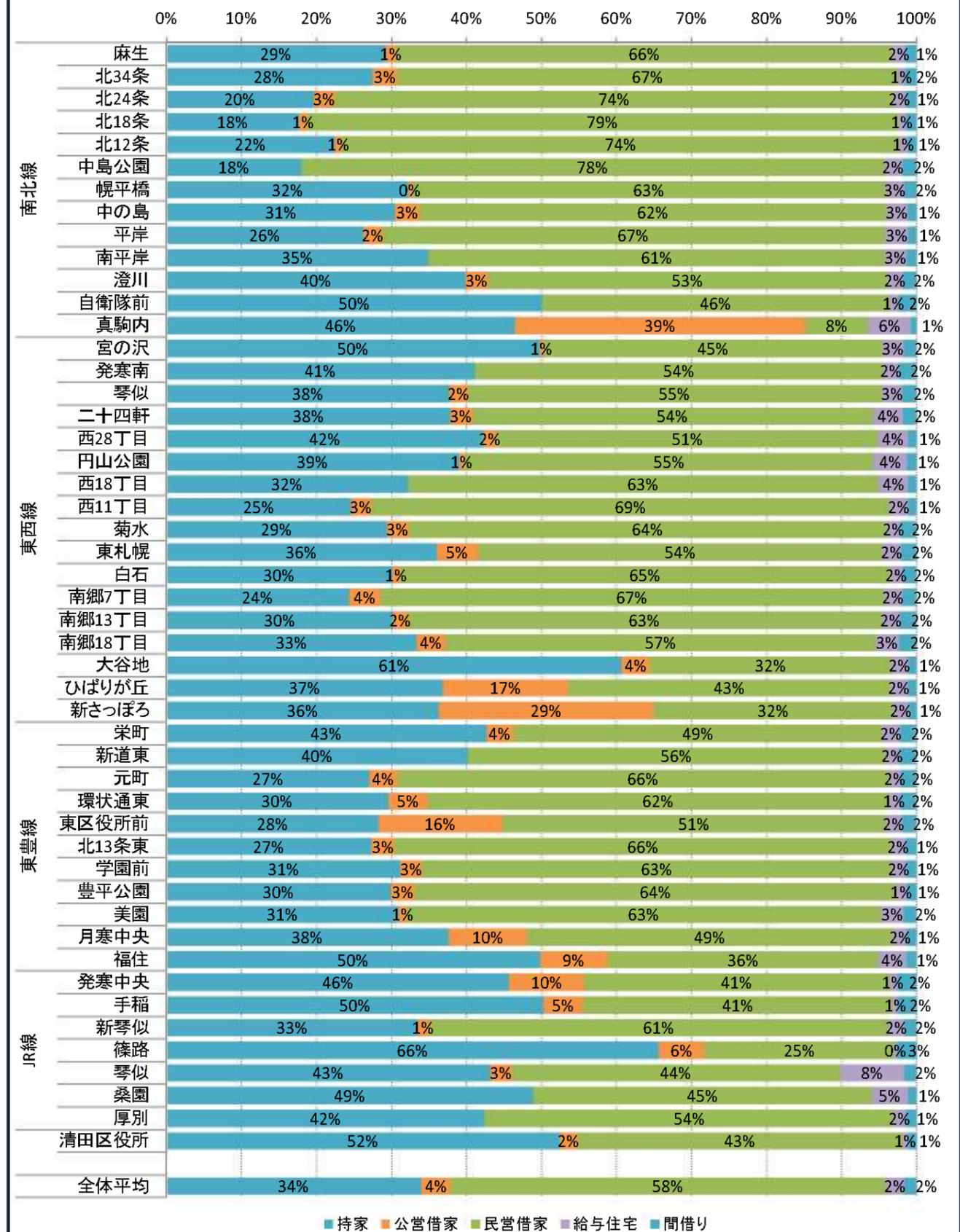
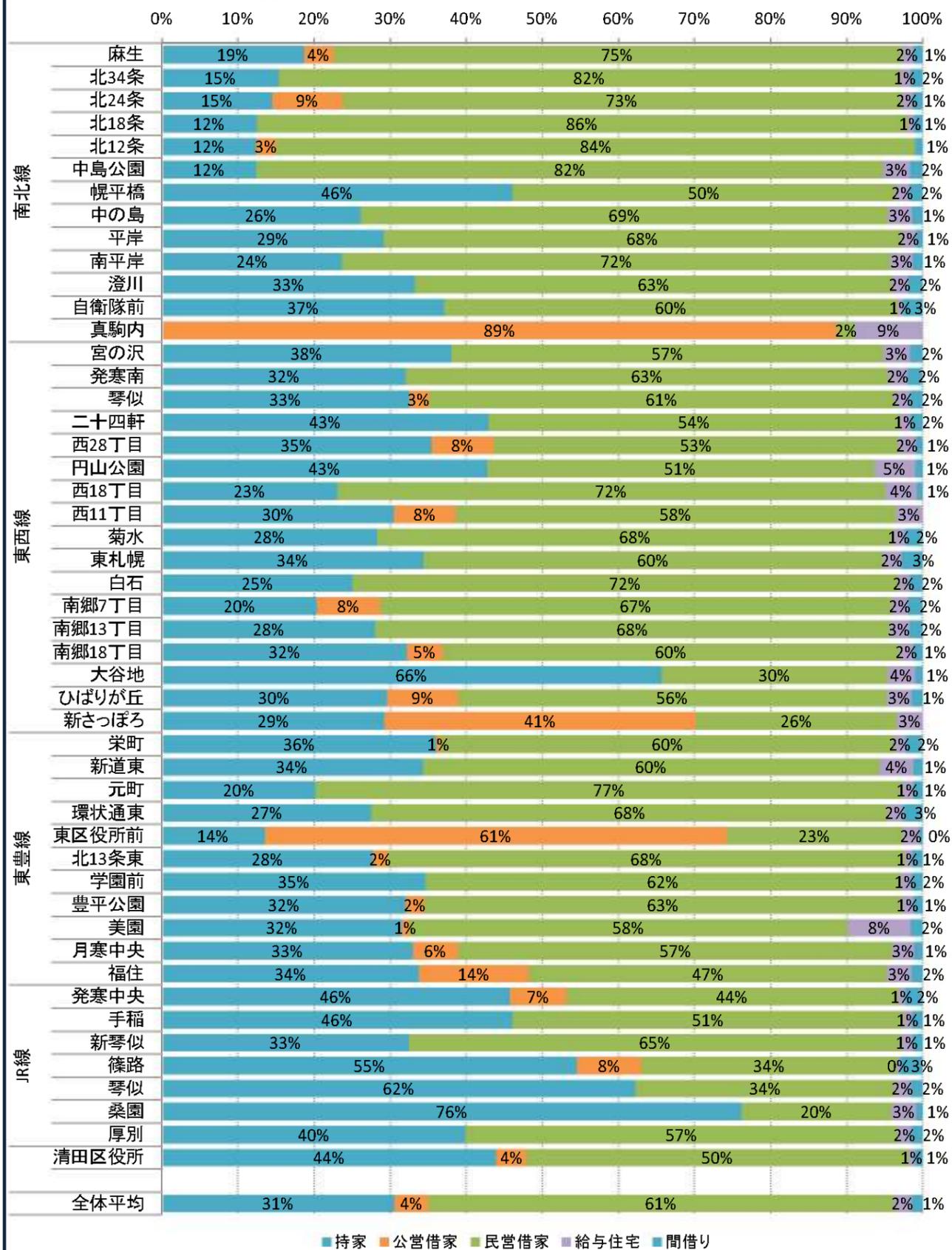


■ 単独世帯(高齢単身除く) ■ 65歳以上の単独世帯 ■ 65歳以上の夫婦世帯 ■ その他世帯

■ 単独世帯(高齢単身除く) ■ 65歳以上の単独世帯 ■ 65歳以上の夫婦世帯 ■ その他世帯

○ 半径300m圏 住宅所有構成

○ 半径800m圏 住宅所有構成



■ 持家 ■ 公営借家 ■ 民営借家 ■ 給与住宅 ■ 間借り

■ 持家 ■ 公営借家 ■ 民営借家 ■ 給与住宅 ■ 間借り

項目		後背圏	
		300m	800m
①性格	建物用途現況	・住居系施設の延床面積については、円山公園が45.2万㎡と最も大きく、次いで、平岸が40.9万㎡、北24条及びJR琴似が33.2万㎡となっている。また、延床面積が最も小さい地区は真駒内で5.8万㎡であり、次いで幌平橋の8.2万㎡となっている。	・住居系施設の延床面積については、西18丁目165.7万㎡で最も大きく、次いで、西28丁目の151.3万㎡、地下鉄琴似の144.0万㎡となっている。また、延床面積が最も小さい地区は自衛隊前で51.2万㎡であり、次いで、真駒内の51.7万㎡、篠路の52.3万㎡となっている。
		・住居系施設割合（延床面積）については、南郷13丁目93%と最も高く、次いで、ひばりが丘89%、美園・厚別が87%となっている。また、割合が最も低い地区は西11丁目の17%であり、次いで新さっぽろの23%となっている。	・住居系施設割合（延床面積）については、幌平橋86%と最も高く、次いで、澄川・元町・発寒中央が84%となっている。また、割合が最も低い地区は西11丁目の32%となっている。
		・商業系施設の延床面積については、新さっぽろが25.5万㎡と最も大きく、次いで、中島公園が22.1万㎡、西11丁目17.7万㎡となっている。また、延床面積が最も小さい地区は豊平公園で0.2万㎡であり、次いで、厚別・南郷13丁目・発寒中央・環状通東が0.4万㎡となっている。	・商業系施設の延床面積については、中島公園が103.7万㎡と最も大きく、次いで、西11丁目の45.4万㎡、地下鉄琴似の32.3万㎡となっている。また、延床面積が最も小さい地区は自衛隊前で0.8万㎡であり、次いで、発寒中央・真駒内が2.2万㎡となっている。
		・商業系施設割合（延床面積）については、新札幌地区が49%と最も高く、次いで、中島公園地区、福住となっている。また、割合が最も低い地区は豊平公園・厚別の1%となっている。	・商業系施設割合（延床面積）については、中島公園が43%と最も高く、次いで、新さっぽろが21%、JR琴似が16%となっている。また、割合が最も低い地区は自衛隊前の1%となっている。
		・業務系施設の延床面積については、西11丁目34.0万㎡と最も大きく、次いで、西18丁目8.8万㎡、中島公園が7.3万㎡となっている。また、延床面積が最も小さい地区は真駒内地区で業務施設が存在しないという状況であり、次いで、自衛隊前が0.1万㎡、幌平橋が0.2万㎡となっている。	・業務系施設の延床面積については、西11丁目116.8万㎡と最も大きく、次いで、西18丁目43.9万㎡、北12条が42.4万㎡となっている。また、延床面積が最も小さい地区は真駒内で0.1万㎡であり、次いで、自衛隊前の0.8万㎡、篠路の2.0万㎡となっている。
		・業務系施設割合（延床面積）については、西11丁目37%と最も高く、次いで、西18丁目・中島公園の15%、北12条の14%となっている。また、割合が最も低い地区は自衛隊前の1%であり、次いで、幌平橋の2%となっている。	・業務系施設割合（延床面積）については、西11丁目32%と最も高く、次いで、北12条の17%、西18丁目の16%となっている。また、割合が最も低い地区は真駒内の0%となっている。
②機能集積の傾向	施設立地状況	・公共施設及び生活利便施設の立地数については、中島公園が40件と最も多く、次いで、西11丁目の26件、東区役所の23件となっている。また、立地数が最も少ないのは厚別の2件となっている。構成比率については、拠点間で傾向が大きく異なっており、立地施設の種類のばらつきが見られる。	・公共施設及び生活利便施設の立地数については、西11丁目102件と最も多く、次いで、中島公園の100件となっている。また、立地数が最も少ないのは自衛隊前の22件となっている。構成比率については、各拠点で行政施設・学校教育・文化施設・社会福祉施設をあわせた割合が約4割程度を占めており、これら以外の施設については拠点ごとにばらつきが見られる。
		・行政施設については、全体平均で1.4件となっており、最も立地が多い地区は西11丁目（5件）となっている。	・行政施設については、全体平均で2.3件となっており、最も立地が多い地区は西11丁目（14件）となっている。
		・学校教育・文化施設については、全体平均で2.6件となっており、最も立地が多い地区は西18丁目（11件）となっている。	・学校教育・文化施設については、全体平均で10.8件となっており、最も立地が多い地区は西18丁目（27件）となっている。
		・社会福祉施設については、全体平均で1.7件となっており、最も立地が多い地区は北24条・西11丁目・栄町・元町・新琴似・JR琴似（3件）となっている。	・社会福祉施設については、全体平均で4.3件となっており、最も立地が多い地区は地下鉄琴似・西11丁目（8件）となっている。
		・児童福祉・子育て支援施設については、全体平均で1.1件となっており、最も立地が多い地区は南郷18丁目（2件）となっている。	・児童福祉・子育て支援施設については、全体平均で2.5件となっており、最も立地が多い地区は平岸・西28丁目・東札幌・白石・元町・東区役所前・豊平公園・月寒中央・発寒中央（4件）となっている。
		・医療施設については、全体平均で1.5件となっており、最も立地が多い地区は桑園（4件）となっている。	・医療施設については、全体平均で3.1件となっており、最も立地が多い地区は北12条（7件）となっている。
		・商業施設については、全体平均で2.3件となっており、最も立地が多い地区は新さっぽろ・JR琴似（6件）となっている。	・商業施設については、全体平均で6.9件となっており、最も立地が多い地区は地下鉄琴似・東区役所前・JR琴似（14件）となっている。
		・宿泊施設については、全体平均で3.9件となっており、最も立地が多い地区は中島公園（30件）となっている。	・宿泊施設については、全体平均で5.7件となっており、最も立地が多い地区は中島公園（63件）となっている。
		・娯楽施設については、全体平均で1.6件となっており、最も立地が多い地区は北24条・西28丁目・白石・大谷地（3件）となっている。	・娯楽施設については、全体平均で3.3件となっており、最も立地が多い地区は地下鉄琴似（9件）となっている。
③人口動向傾向	人口	・人口については、平岸が8,071人と最も多く、次いで、ひばりが丘7,535人、南郷7丁目7,226人、円山公園が7,212人と続いている。また、最も人口が少ない地区は幌平橋で1,097人となっている。	・人口については、地下鉄琴似が32,407人と最も多く、次いで、JR琴似が29,982人、西28丁目28,681人、南平岸28,453人と続いている。また、最も人口が少ない地区は真駒内で11,243人となっている。
	人口増減（H17→H23）	・人口の増加数については、月寒中央が818人増と最も多く、次いで、円山公園が800人増、中島公園が745人増となっている。また、人口の減少数については、新札幌が626人減と最も多く、次いで、東区役所が617人減となっている。	・人口の増加数については、東札幌が3,926人増と最も多く、次いで、西18丁目3,899人増、西11丁目3,073人増となっている。また、人口の減少数については、南郷7丁目735人減と最も多く、次いで、澄川が447人減となっている。
	年齢構成（3区分）	・年齢構成について、高齢化率が最も高いのは真駒内・新さっぽろ・東区役所前の33%となっており、幌平橋・大谷地の27%となっている。	・年齢構成について、高齢化率が最も高いのは真駒内で28%であり、次いで、篠路が27%、自衛隊前が26%となっている。
	世帯数	・世帯数については、平岸が5,222世帯と最も多く、次いで、麻生が4,631世帯、南郷7丁目4,450世帯となっている。また、世帯数が最も少ない地区は幌平橋の747世帯となっている。	・世帯数については、地下鉄琴似が18,904世帯と最も多く、次いで、北13条東が17,597世帯、北24条が17,191世帯となっている。また、世帯数が最も少ない地区は真駒内の5,064世帯となっている。
	世帯構成	・一般世帯に占める単独世帯の割合については、北12条が86%と最も高く、次いで、北18条が82%となっている。また、最も割合が低い地区は篠路の27%となっている。	・一般世帯に占める単独世帯の割合については、北12条・北18条が77%と最も高く、次いで、中島公園が73%となっている。また、最も割合が低い地区は篠路の23%となっている。
		・一般世帯に占める65歳以上の単独世帯の割合については、真駒内が26%と最も高く、次いで、東区役所前が22%となっている。	・一般世帯に占める65歳以上の単独世帯の割合については、真駒内が16%と最も高く、次いで、新さっぽろが14%となっている。
住宅所有構成	・住宅所有構成比については、桑園・大谷地・琴似・篠路で持家比率が過半を占めている。また、真駒内・東区役所前・新さっぽろにおいては公営借家の比率が高くなっている。	・住宅所有構成比については、篠路・大谷地・清田区役所・自衛隊前・宮の沢・福住・手稲で持家比率が過半を占めている。	